

SONY®

Operation Software for HD COLOR CORRECTOR

HKSP-313

User's Guide



MEMORY STICK™

Universal Control Panel

UCP-8060

1st Edition (Revised 1) Japanese/English

Software Version 1.10 and Later

権利者の許諾を得ることなく、このソフトウェアおよび取扱説明書の内容の全部または一部を複写すること、およびこのソフトウェアを賃貸に使用することは、著作権法上禁止されております。

©2003 Sony Corporation

ソフトウェアを使用したことによるお客様の損害、または第三者からのいかなる請求についても、当社は一切その責任を負い兼ねます。

万一、製造上の原因による不良がありましたらお取り替えいたします。それ以外の責はご容赦ください。

このソフトウェアは、指定された装置以外には使用できません。

このソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

NOTICE TO USERS

©2003 Sony Corporation. All rights reserved. This manual or the software described herein, in whole or in part, may not be reproduced, translated or reduced to any machine readable form without prior written approval from Sony Corporation.

SONY CORPORATION PROVIDES NO WARRANTY WITH REGARD TO THIS MANUAL, THE SOFTWARE OR OTHER INFORMATION CONTAINED HEREIN AND HEREBY EXPRESSLY DISCLAIMS ANY IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY OR FITNESS FOR ANY PARTICULAR PURPOSE WITH REGARD TO THIS MANUAL, THE SOFTWARE OR SUCH OTHER INFORMATION. IN NO EVENT SHALL SONY CORPORATION BE LIABLE FOR ANY INCIDENTAL, CONSEQUENTIAL OR SPECIAL DAMAGES, WHETHER BASED ON TORT, CONTRACT, OR OTHERWISE, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THIS MANUAL, THE SOFTWARE OR OTHER INFORMATION CONTAINED HEREIN OR THE USE THEREOF.

目次

概要	4
オペレーションソフトウェアの最新バージョンについて	4
各部の名称と働き	5
メニュー	7
メニューの構成	7
メニュー項目の機能	10
操作	17
オペレーションソフトウェアの起動と終了	17
調整項目の選択	17
調整値の設定	18
Unit ID の設定	18
オプションメニューの設定	19
ステータス表示	21
スナップショットデータのセーブとリストア	21
ロック機能	23
エラーおよび警告表示	23
“メモリースティック”を使う	24
“メモリースティック”について	24

概要

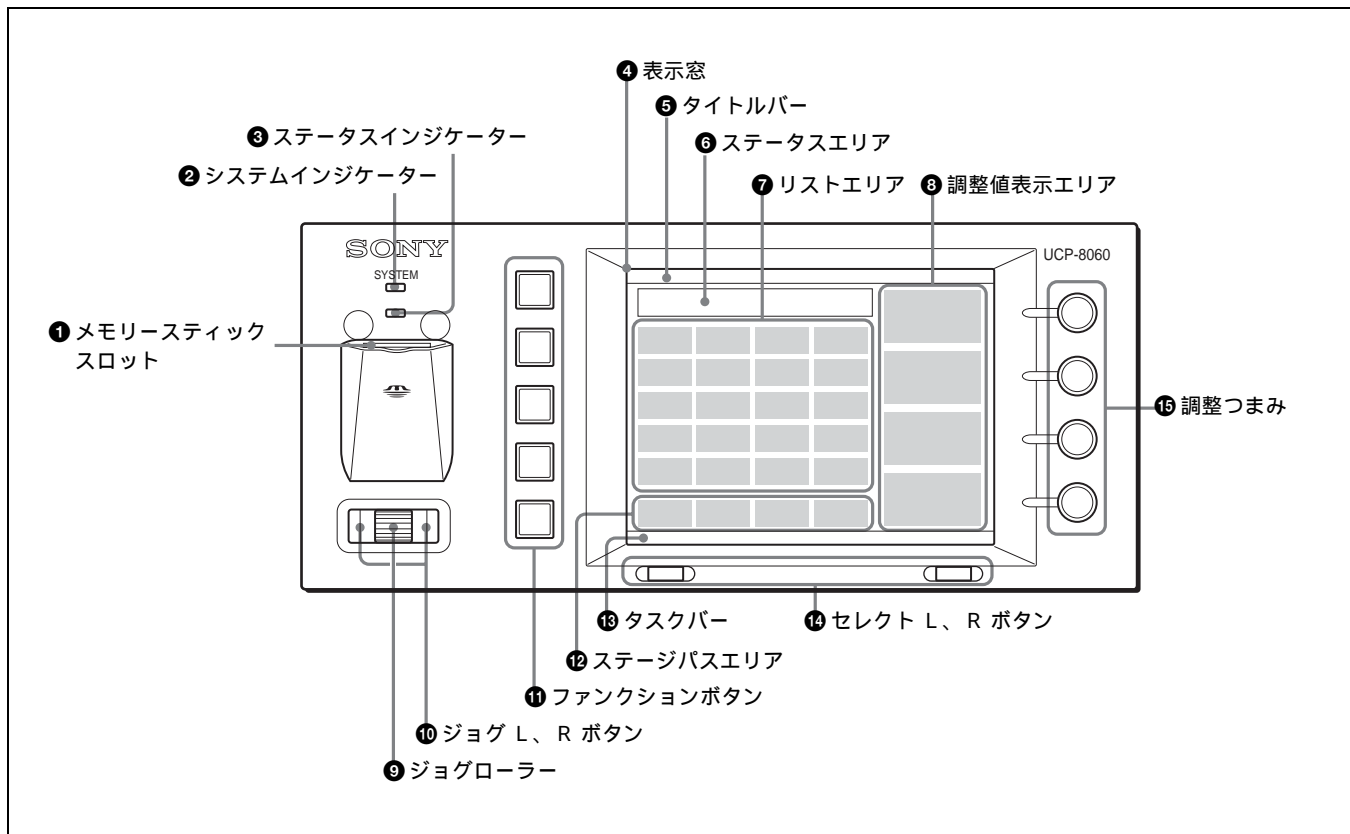
本ソフトウェアは、HD カラーコレクター HKSP-313 用のオペレーションソフトウェアです。ユニバーサルコントロールパネル UCP-8060 にインストールして、ネットワーク上から複数の HKSP-313 をコントロールすることができます。

オペレーションソフトウェアの最新バージョンについて

オペレーションソフトウェアの最新バージョンの入手方法は、ソニーの営業担当にお問い合わせください。

インストール方法については、UCP-8060 の Operation Manual をご覧ください。

各部の名称と働き



① メモリースティックスロット

メモリースティックの挿入口です。ラベル面を上にして挿入します。

詳しくは、UCP-8060 の Operation Manual をご覧ください。

② システムインジケータ

赤、オレンジまたは緑色に点灯し、システムの動作状態を表示します。

③ ステータスインジケータ

メモリ - スティックスロットへのアクセス状態や、接続したシステムの状態を赤、オレンジまたは緑色の点灯、点滅で表示します。

④ 表示窓

メニューやデータを表示します。画面はタッチパネルになっています。表示されている項目に触れて選択することができます。

⑤ タイトルバー

現在表示されている画面の名称を表示します。

⑥ ステータスエリア

HKSP-313 が装着されているスロット番号やエラー表示など、現在のステータスを表示します。

⑦ リストエリア

このソフトウェアでコントロールできる項目がボタンとして表示されます。コントロールしたいボタンに触れると、その項目を選択することができます。

⑧ 調整値表示エリア

調整つまみ 1、2、3、4 に割り当てられているパラメータとその調整値を表示します。表示されている調整値は、対応する調整つまみを回して調整することができます。また、調整したい調整値表示エリアに触れると数字入力画面が表示され、数値を入力して調整することもできます。

⑨ ジョグローラー

前後に回転し、項目の選択や数字の変更をします。またローラーを押すと、選択した項目を決定します。

⑩ ジョグ L、R ボタン

左側をジョグ L ボタン、右側をジョグ R ボタンと呼びます。押して、メニュー階層の移動などに使用します。

⑪ ファンクションボタン

上からファンクションボタン 1、2、... 5 と呼びます。操作の状態により、緑、オレンジ、赤に点灯します。

ファンクションボタン 1 (ロック): 押すたびにロック機能を ON / OFF します。赤く点灯しているときはロック機能が ON、消灯しているときはロック機能が OFF に設定されています。

ファンクションボタン 2、3、4 : 使用しません。

ファンクションボタン 5 (シフト): メニュー画面を切り換えます。緑色に点灯しているときに押すと次の画面に、オレンジ色に点灯しているときに押すと前の画面に切り換わります。

ロック機能については、「ロック機能」(23 ページ)をご覧ください。

⑫ ステージパスエリア

メニューのパスを表示します。

⑬ タスクバー

セレクト L、R ボタンで実行できる項目やキーボードアイコンなどが表示されます。

⑭ セレクト L、R ボタン

左側をセレクト L ボタン、右側をセレクト R ボタンと呼びます。タスクバーの各スイッチに対応する位置に表示される機能を実行します。

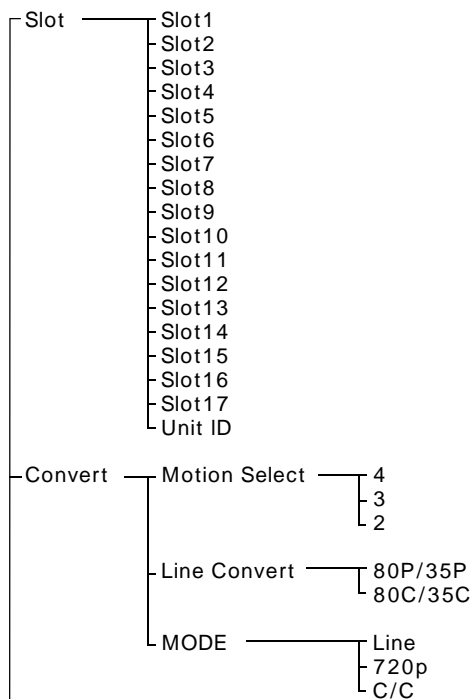
⑮ 調整つまみ

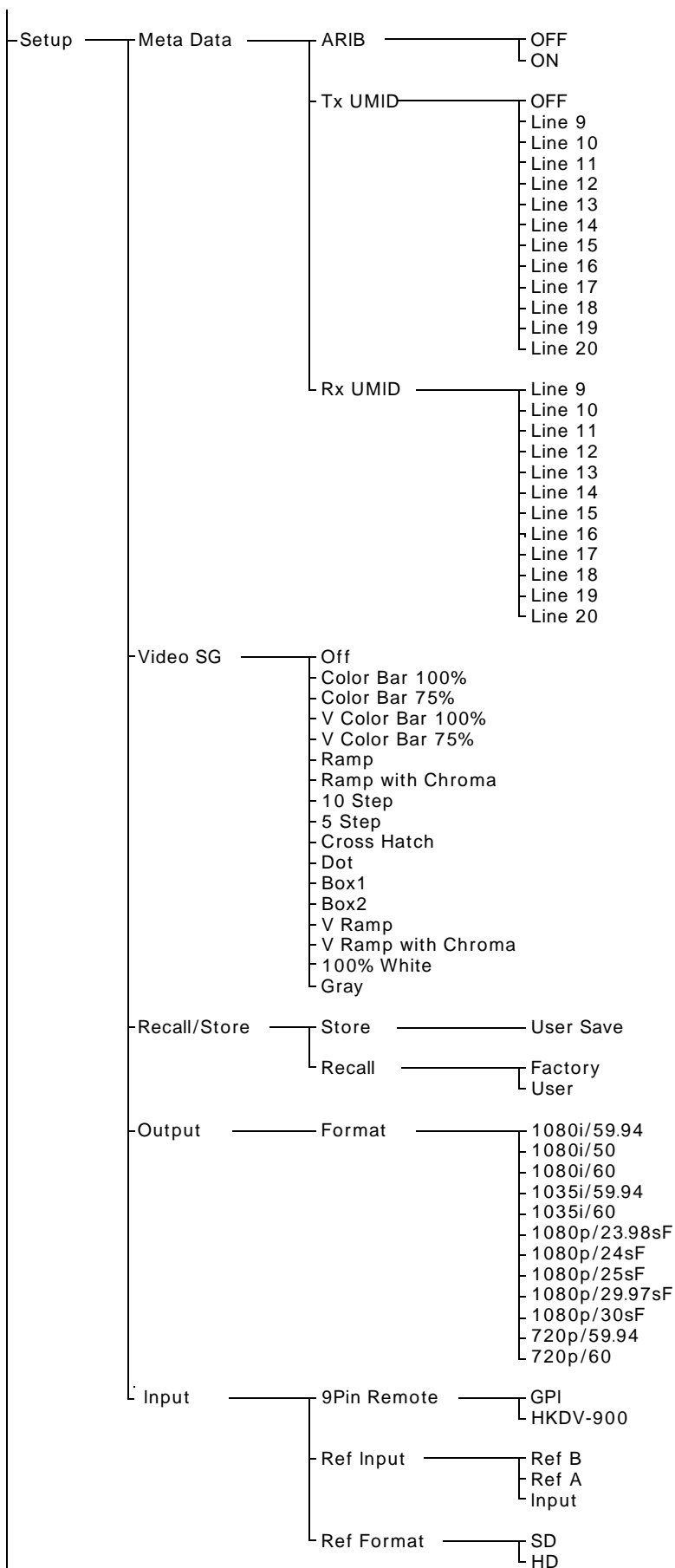
上から調整つまみ 1、2、3、4 と呼びます。パラメーターの調整などに使用します。

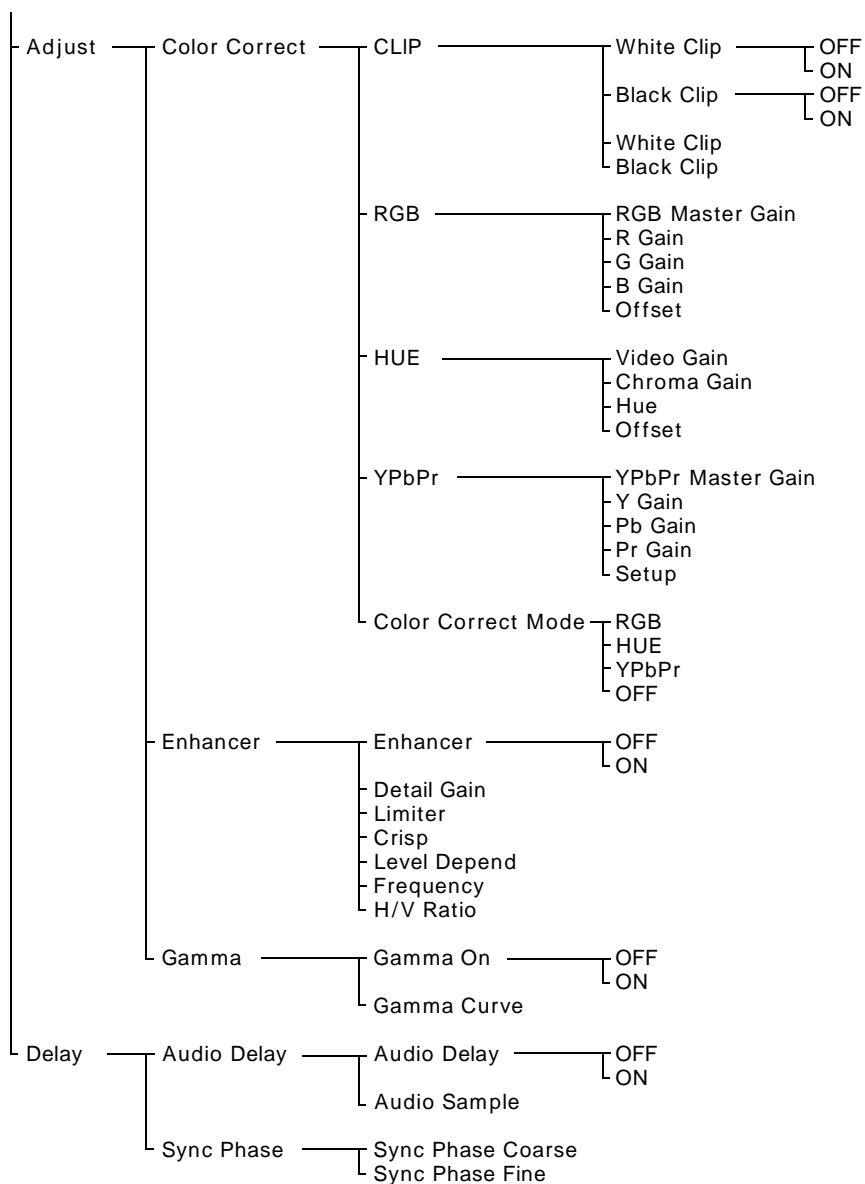
メニュー

メニューの構成

このオペレーションソフトウェアのメニューは次のような構成になっています。







メニュー項目の機能

<p>Slot</p> <p>コントロールするスロットを選択します。</p>	<p>Slot1 ~ Slot17 : コントロールの対象となるスロット名 (最大 4 文字) とそのスロットに装着されている基板のモデル名を表示します。</p> <p>ご注意</p> <p>PFV-SP3300 に接続している場合は Slot1 から Slot17 まで、PFV-SP3100 に接続している場合は Slot1 から Slot4 までが表示されます。</p> <p>Unit ID : 現在接続している PFV-SP3300 または PFV-SP3100 のユニット名 (最大 10 文字) を表示します。設定範囲は 1 ~ 254 で、数字入力画面を使って入力します。</p> <p>ご注意</p> <p>調整つまみでは設定できません。</p> <p>スロット名およびユニット名の設定方法は、HKSP-300 のインストラクションマニュアルをご覧ください。</p>
<p>Convert</p> <p>コンバージョンモードの調整を行います。</p>	<p>Motion Select</p> <p>720p 変換モードでの動き検出感を調整します。</p> <p>4 : adaptive 1-M 3 : adaptive 1 2 : adaptive 1-S</p> <p>ご注意</p> <p>MODE の設定が C/C または Line のときは、ボタンは暗く表示され、選択できません。</p> <hr/> <p>Line Convert</p> <p>ライン変換モードの選択を行います。</p> <p>80P/35P : Format が 1080i/59.94、1080i/60 のときは、1080 Panel モードで動作します。 Format が 1035i/59.94、1035i/60 のときは、1035 Crop モードで動作します。</p> <p>80C/35C : Format が 1080i/59.94、1080i/60 のときは、1080 Convert モードで動作します。 Format が 1035i/59.94、1035i/60 のときは、1035 Convert モードで動作します。</p> <p>変換モードについては、インストラクションマニュアルの「5-1-5. LINE 変換モード説明図」を参照してください。</p> <p>ご注意</p> <p>Mode の設定が C/C または 720p のときは、ボタンは暗く表示され、選択できません。</p> <hr/> <p>MODE</p> <p>コンバージョンモードの選択を行います。</p> <p>Line : ライン変換モード 720p : 720p 変換モード C/C : カラーコレクターモード</p>

Setup システム設定を行います。	Meta Data メタデータの挿入機能の設定を行います。	ARIB ARIB データ送信機能の制御を行います。 OFF : ARIB データの送信を行いません。 ON : ARIB データを送信します。 ご注意 ・ Format の設定が 59.94i/60i/59.94P/60P 以外のときは、ボタンは暗く表示され、選択できません。 ・ UMID が ARIB のラインに設定されていると、ARIB メニューの設定はできません。
		Tx UMID UMID データ送信ライン番号を指定します。 OFF : UMID の送信を行いません。 Line 9 ~ Line 20 : UMID データ送信ライン番号を指定します。 設定範囲 : Line 9 ~ Line 20 (Format が 1080/1035 で ARIB が ON のとき、Line 19、Line 20 は選択できません) 工場出荷時の設定 : Line 17 ご注意 ・ MODE および Format の設定を変更すると、自動的に出荷時の設定になります。 ・ システムディレイが最小遅延のとき、Tx UMID は Rx UMID の設定が反映され、Tx UMID メニューは表示されません。
		Rx UMID UMID データ受信ライン番号を指定します。 Line 9 ~ Line 20 : UMID データ受信ライン番号を指定します。 設定範囲 : Line 9 ~ Line 20 (Format が 1080/1035 で ARIB が ON のとき、Line 19、Line 20 は選択できません) 工場出荷時の設定 : Line 17 ご注意 ・ MODE および Format の設定を変更すると、自動的に出荷時の設定になります。 ・ システムディレイが最小遅延のとき、Tx UMID は Rx UMID の設定が反映され、Tx UMID メニューは表示されません。
	Video SG 内部ビデオ信号の選択を行います。	以下の信号から選択します。 Off : 内部信号発生回路を使用しません。 Color Bar 100% : 100% カラーバー Color Bar 75% : 75% カラーバー V Color Bar 100% : 100% 縦カラーバー V Color Bar 75% : 75% 縦カラーバー Ramp : ランプ波形 Ramp with Chroma : 色つきランプ波形 10 Step : 10 ステップ 5 Step : 5 ステップ Cross Hatch : クロスハッチ Dot : ドット Box1 : ボックス 1 Box2 : ボックス 2 V Ramp : 縦ランプ波形 V Ramp with Chroma : 色つき縦ランプ波形 100% White : 100% 白 Gray : グレイ画

Setup (続き)	Recall/Store デフォルト値の管理を行います。	Store デフォルト値をストアします。 User Save : 現在の設定をユーザーデフォルトとして保存します。
		Recall デフォルト値の呼び出しを行います。 Factory : 工場出荷時のデフォルト値を呼び出します。 User : ユーザーが設定したデフォルト値を呼び出します。 ご注意 User Save で設定を保存していない場合、User の初期設定値は工場出荷時と同じになります。
	Output 出力の設定を行います。	Format 出力ビデオ信号のフォーマットを選択します。 1080i/59.94 : 1080 ライン、59.94Hz、インターレース 1080i/50 : 1080 ライン、50Hz、インターレース ^{a) b)} 1080i/60 : 1080 ライン、60Hz、インターレース 1035i/59.94 : 1035 ライン、59.94Hz、インターレース ^{b)} 1035i/60 : 1035 ライン、60Hz、インターレース ^{b)} 1080p/23.98sF : 1080 ライン、23.98Hz、プログレッシブ・セグメンテッド・フレーム ^{a) b)} 1080p/24sF : 1080 ライン、24Hz、プログレッシブ・セグメンテッド・フレーム ^{a) b)} 1080p/25sF : 1080 ライン、25Hz、プログレッシブ・セグメンテッド・フレーム ^{a) b)} 1080p/29.97sF : 1080 ライン、29.97Hz、プログレッシブ・セグメンテッド・フレーム ^{a) b)} 1080p/30sF : 1080 ライン、30Hz、プログレッシブ・セグメンテッド・フレーム ^{a) b)} 720p/59.94 : 720 ライン、59.94Hz、プログレッシブ ^{a)} 720p/60 : 720 ライン、60Hz、プログレッシブ ^{a)} ^{a)} MODE の設定が Line のとき、ボタンは暗く表示され、選択できません ^{b)} MODE の設定が 720p のとき、ボタンは暗く表示され、選択できません。
		9Pin Remote 9 ピンリモートコントロールの選択を行います。 GPI : GPI HKDV-900 : HD デジタルビデオコントローラー HKDV-900
	Input 各種入力の設定を行います。	Ref Input 使用する同期信号を選択します。 Ref B : REF B 端子に入力された信号 Ref A : REF A 端子に入力された信号 Input : ビデオ入力信号
		Ref Format 外部同期信号の種類を選択します。 SD : SD ブラックバースト信号 HD : HD 三値シンク信号

Adjust 出力ビデオ信号の調整を行います。	Color Correct カラーコレクト機能の調整を行います。 ご注意 MODE の設定が Line のときは、ボタンは暗く表示され、選択できません。	CLIP クリッピングの調整を行います。 ご注意 Color Correct Mode の設定が OFF のときは、ボタンは暗く表示され、選択できません。	White Clip ホワイトクリップの調整を制御します。 OFF：ホワイトクリップ調整不可能となります。 ON：ホワイトクリップ調整可能となります。
		Color Correct Mode の設定が OFF のときは、ボタンは暗く表示され、選択できません。	Black Clip ブラッククリップの調整を制御します。 OFF：ブラッククリップ調整不可能となります。 ON：ブラッククリップ調整可能となります。
			White Clip ホワイトクリップレベルを調整します。 設定範囲：93 ~ 108%（1%単位） 工場出荷時の設定：100%
			Black Clip ブラッククリップレベルを調整します。 設定範囲：- 6 ~ + 7%（1%単位） 工場出荷時の設定：0%
		RGB RGB モードでの調整を行います。 ご注意 Color Correct Mode の設定が RGB のときに選択できます。	RGB Master Gain マスターゲインを調整します。 設定範囲：0 ~ 141%（0.1%単位） 工場出荷時の設定：100%
			R Gain R ゲインを調整します。 設定範囲：0 ~ 141%（0.1%単位） 工場出荷時の設定：100%
			G Gain G ゲインを調整します。 設定範囲：0 ~ 141%（0.1%単位） 工場出荷時の設定：100%
			B Gain B ゲインを調整します。 設定範囲：0 ~ 141%（0.1%単位） 工場出荷時の設定：100%
			Offset オフセットを調整します。 設定範囲：- 10 ~ + 10%（0.5%単位） 工場出荷時の設定：0% （ファンクションボタン 5（シフト）を押して画面を切り換えてください。）

Adjust (続き)	Color Correct (続き)	HUE HUE モードでの調整を行います。 ご注意 Color Correct Mode の設定が HUE のときに選択できます。	Video Gain ビデオゲインを調整します。 設定範囲：0 ~ 141% (0.1%単位) 工場出荷時の設定：100%
			Chroma Gain クロマゲインを調整します。 設定範囲：0 ~ 141% (0.1%単位) 工場出荷時の設定：100%
			Hue HUE を調整します。 設定範囲：- 30 ° ~ + 30 ° (0.1 ° 単位) 工場出荷時の設定：0 °
			Offset オフセットを調整します。 設定範囲：- 10 ~ + 10% (0.5%単位) 工場出荷時の設定：0%
		YPbPr YPbPr モードでの調整を行います。 ご注意 Color Correct Mode の設定が YPbPr のときに選択できます。	YPbPr Master Gain マスターゲインを調整します。 設定範囲：0 ~ 141% (0.1%単位) 工場出荷時の設定：100%
			Y Gain Y ゲインを調整します。 設定範囲：0 ~ 141% (0.1%単位) 工場出荷時の設定：100%
			Pb Gain Pb ゲインを調整します。 設定範囲：0 ~ 141% (0.1%単位) 工場出荷時の設定：100%
			Pr Gain Pr ゲインを調整します。 設定範囲：0 ~ 141% (0.1%単位) 工場出荷時の設定：100%
			Setup セットアップを調整します。 設定範囲：- 10 ~ + 10% (0.5%単位) 工場出荷時の設定：0% (ファンクションボタン 5 (シフト) を押して画面を切り換えてください。)
		Color Correct Mode カラーコレクトモードを選択します。 RGB：RGB モードを選択します。 HUE：HUE モードを選択します。 YPbPr：YPbPr モードを選択します。 OFF：カラーコレクト機能を OFF します。	

Adjust (続き)	Enhancer エンハンサーの調整を行います。	Enhancer ディテール調整の制御をします。 OFF：ディテール調整不可能になります。 ON：ディテール調整可能になります。
		Detail Gain ディテール信号の増減を調整します。 設定範囲：0 ~ 127 工場出荷時の設定：64
		Limiter ディテール信号の海内レベルに対してクリップするレベルを調整します。 設定範囲：0 ~ 63 工場出荷時の設定：32
		Crisp ディテール信号にクリスピーニングをかけるレベルを調整します。 設定範囲：0 ~ 15 工場出荷時の設定：8
		Level Depend 暗部のディテールの圧縮率を調整します。 設定範囲：0 ~ 15 工場出荷時の設定：8
		Frequency H ディテールの周波数を選択します。 設定範囲：0 ~ 3 工場出荷時の設定：2 (ファンクションボタン 5 (シフト) を押して画面を切り換えてください)
		H/V Ratio H/V ディテール信号の混合比を選択します。 設定範囲：0 ~ 7 工場出荷時の設定：3 (ファンクションボタン 5 (シフト) を押して画面を切り換えてください。)
	Gamma ガンマの調整を行います。 ご注意 MODE の設定が Line のときは、ボタンは暗く表示され、選択できません。	Gamma ガンマ調整の制御を行います。 OFF：ガンマ調整不可能となります。 ON：ガンマ調整可能となります。
		Gamma Curve ガンマ特性を調整します。 設定範囲：0.38 ~ 0.52 (0.01 単位) 工場出荷時の設定：0.45

Delay Delay 調整をおこないます。	Audio Delay Audio Delay の制御を行います。	Audio Delay Audio Delay の制御を行います。 OFF：ビデオのシステムディレイに同期させます。 ON：オーディオディレイ調節可能となります。
		Audio Sample Audio Delay を調整します。 設定範囲：21 ~ 4095 サンプル 工場出荷時の設定：21
	Sync Phase 同期信号の位相調整を行います。 ご注意 Enhancer の設定が OFF のときは、システムディレイが最小 (4microsec) で出力されますので、調整はできません。	Sync Phase Coarse 同期信号を粗調整します。 調整範囲：- 128 ~ + 127 (1 ステップ単位) 工場出荷時の設定：0
		Sync Phase Fine 同期信号を微調整します。 調整範囲：0 ~ 1024 (8 ステップ単位) 工場出荷時の設定：0

操作

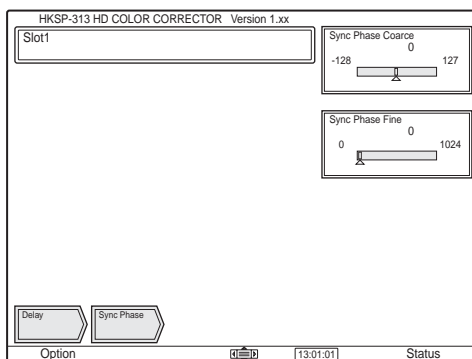
UCP-8060 に電源が供給されると、システムインジケータが赤色に点灯します。機器内部の初期化が正常に終了するとインジケータは緑色に点灯し、Main Screen（以下メイン画面とする）が表示されます。表示窓に表示されるメニューの選択や各種の設定は、ジョグローラー、ジョグボタン、セレクトボタン、調整つまみを使って行います。表示窓はタッチパネルになっています。画面に表示されている項目に触れて選択することもできます。

オペレーションソフトウェアの起動と終了

起動するには

- 1 ジョグローラーを回して、HKSP-313 をメイン画面で選択する。
- 2 ジョグローラーを押すか、セレクト R ボタン（Launch）を押す。

オペレーションソフトウェアが起動し、トップ画面が表示されます。



メイン画面で、HKSP-313 ボタンを押して起動することもできます。

オートスタート機能

起動時に、UCP-8060 のメイン画面をパスして、直接オペレーションソフトウェアのトップ画面を表示することができます。

オートスタートの設定については、UCP-8060 の Operation Manual の「オートスタートの設定」をご覧ください。

終了するには

- 1 HKSP-313 のトップ画面でセレクト L ボタン（Option）を押す。
Option Menu が表示されます。
- 2 ジョグローラーを回して、8. Exit Application を選択する。
- 3 ジョグローラーを押す。
HKSP-313 が終了し、UCP-8060 のメイン画面が表示されます。

Option Menu の 8. Exit Application を押して終了することもできます。

調整項目の選択

画面に表示されているボタンに触れて希望する項目を選択します。

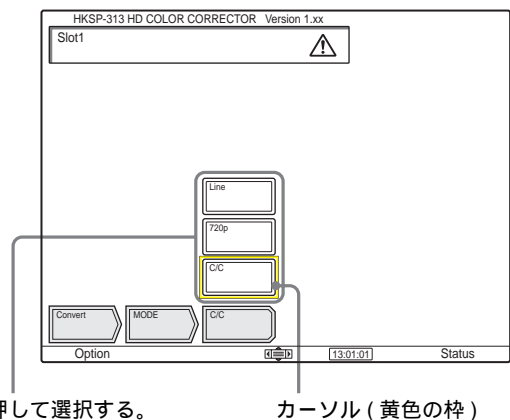
表示されるボタンには次の 3 種類の機能があります。

- ・ 次の選択肢をリスト表示する。
- ・ 表示されている項目を設定または実行する。
- ・ 押すたびに On/Off の設定を交互に切り換える。

たとえば MODE を調整したいときは、次の手順で調整項目を選択します。

- 1 MODE ボタンを押す。

リストエリアの左から 3 列目に選択肢が表示されます。



押して選択する。

カーソル（黄色の枠）

- 2 表示された選択肢から、希望するボタンを押す。
さらに選択肢がある場合は、次の選択肢が表示されず。

ON/OFF を設定するボタンの場合は、押すたびに ON/OFF の設定が切り換わります。

操作画面のカーソルについて

調整項目選択中の画面で、リストエリアのボタンに表示されるカーソルは、UCP-8060 のジョグローラーまたはジョグ L、R ボタンで操作したときのみ移動します。直接画面上のボタンを押して操作した場合は、カーソルは移動しません。

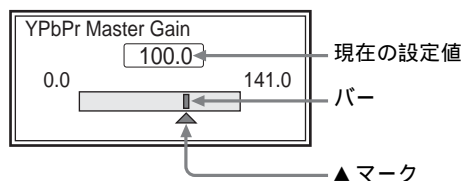
調整値の設定

調整値表示エリアに表示されるパラメーターの値は調整つまみを回すか、数値を入力して設定します。

調整つまみを使う場合

調整したいパラメーターの右にある調整つまみを回します。

Unity 値の表示

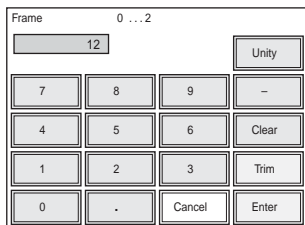


▲マーク：Unity 位置（ユーザーデフォルト値を表示します。）

バー：Unity 値と現在の設定値が等しい場合、バーが黄色になります。

数字入力画面を使う場合

- 1 調整したいパラメーターの調整値表示エリアを押す。
数字入力画面が表示されます。



- 2 設定したい数値を入力し、Enter ボタンを押す。
現在の設定値から増減するには、数値を入力して Trim ボタンを押す。

数字入力画面が消え、入力した数値が調整値表示エリアに表示されます。

入力した数値を取り消すには、Enter または Trim ボタンを押す前に Clear ボタンを押します。

数値入力を取り消すには

Cancel ボタンを押します。

設定されている値をデフォルトに戻すには

Unity ボタンを押します。ユーザーが設定したデフォルト値に戻ります。

詳しくは、12 ページをご覧ください。

Unit ID の設定

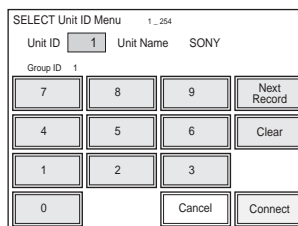
調整値表示エリアに表示される Unit ID の値は数値を入力して設定します。

- 1 リストエリアの Slot ボタンを押す。

調整値表示エリアに Unit ID の調整値が表示されず。

- 2 Unit ID の調整値表示を押す。

数字入力画面が表示されます。



- 3 設定したい数値を入力し、Connect ボタンを押す。

数字入力画面が消え、入力した数値が調整値表示エリアに表示されます。

入力した数値を取り消すには、Connect ボタンを押す前に Clear ボタンを押します。

数字入力画面を消すには

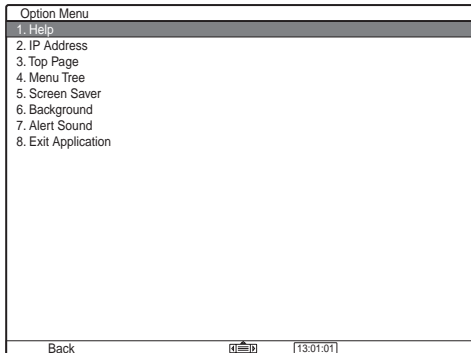
Cancel ボタンを押します。

通信履歴のある Unit ID を選択するには

Next Record ボタンを押します。現在の設定値以降の数値が順番に表示されます。通信履歴のある Unit ID にユニット名がある場合はユニット名を表示します。

オプションメニューの設定

セレクト L ボタン (Option) を押すと、Option Menu が表示されます。ここで設定した値は、電源を切っても保持されます。



各項目の初期設定は次のとおりです。

2. IP Address (PFV-SP3100/ SP3300 接続時)	Group ID : 1 Category ID : 4 Unit ID : 1 IP Address : 10.129.4.1
3. Top Page	Default Page
4. Menu Tree	Off
5. Screen Saver	On Elapsed Period of Time (min) : 10
6. Background	Default B : 127、G : 111、R : 111
7. Alert Sound	On

設定する項目を選択するには

次のどちらかの手順で設定したい項目を選択します。

方法 1

設定したい項目を押す。

方法 2

1 ジョグローラーを回して設定したい項目を反転表示する。

2 ジョグローラーを押す。

1. Help

ファンクションボタンの設定を表示します。

2. IP Address

Group ID (設定範囲: 1 ~ 63) Unit ID (設定範囲: 1 ~ 254) を設定します。

1 2. IP Address を選択する。

2 ジョグ L、R ボタンを押して変更したい項目を決定する。

3 ジョグローラーを回して、数値を変更する。

4 セレクト R ボタン (Save) を押す。

変更した値が保存されます。

変更したくない場合は、セレクト L ボタン (Cancel) を押します。

他の項目の数値を変更したい場合は、手順 2、3 を繰り返します。

IP アドレスについて

DATA LAN は Category ID、Group ID、Unit ID の組み合わせで IP アドレスを決定します。各接続機器は本ルールで Category ID が決まっており、通常 Group ID は 1 に設定し、Unit ID の指定のみで接続することができます。

通信履歴を消去するには

画面右下の Clear ボタンを押してから手順 4 を実行します。Group ID と Unit ID の変更した値が保存され、通信履歴が消去されます。

手順 4 を実行する前に Clear ボタンを再度押すと、消去はキャンセルされます。

3. Top Page

本ソフトウェアを起動するときに、どの画面から起動するかを設定します。

Default Page : トップ画面から起動します。

This Page : Option Menu 選択直前の画面から起動します。

1 3. Top Page を選択する。

2 ジョグ L、R ボタンで Default Page または This Page を選択する。

3 セレクト R ボタン (Save) を押す。

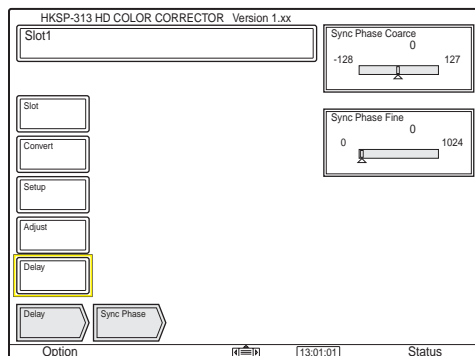
手順 2 で選択したページと現在選択しているスロットが保存されます。

変更したくない場合は、セレクト L ボタン (Cancel) を押します。

4. Menu Tree

トップ画面に、最初のステージ (Slot/Convert/Setup/Adjust/Delay) のボタンを表示するかどうかを設定します。

設定を On にすると、図のように画面の左側に選択ボタンが表示されます。



- 1 4. Menu Tree を選択する。
- 2 ジョグ L、R ボタンで On または Off を選択する。
- 3 セレクト R ボタン (Save) を押す。

手順 2 の選択が保存されます。

変更したくない場合は、セレクト L ボタン (Cancel) を押します。

5. Screen Saver

Screen Saver モードの On/Off と、モード開始までの時間 (1 ~ 60 (min)) を設定します。

- 1 5. Screen Saver を選択する。
- 2 ジョグ L、R ボタンで On または Off を選択する。
On を選択した場合は、次の手順で開始時間を変更します。
Off を選択した場合は、手順 7 へ進みます。
- 3 ジョグローラーを回してカーソルを Elapsed Period of Time に移動する。
- 4 ジョグローラーを押して、数字を反転表示する。
- 5 ジョグローラーを回して Screen Saver モードの開始時間を設定する。
- 6 ジョグローラーを押して設定した時間を決定する。

- 7 セレクト R ボタン (Save) を押す。

設定した時間が保存されます。

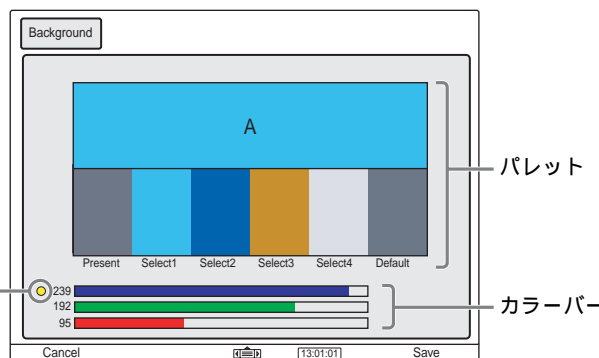
変更したくない場合は、セレクト L ボタン (Cancel) を押します。

6. Background

表示窓の背景色を設定します。

ご注意

タスクバーは固定色となっているため、背景色を変えることはできません。



黄色のマークが表示されているカラーバーを調整することができます。

Present には現在の背景色が、パレット A には選択中の背景色が表示されます。Select1 ~ 4 と Default から好きな色を選択できます。

カラーバーを使って、Present、Default、Select1 ~ 4 のパレットの色を基準に、次の手順で背景色を変更することができます。Default と Select1 ~ 4 の色は、

6. Background を再度選択すると元の色に戻り、変更されません。変更した色が保持されるのは Present の背景色だけです。

- 1 6. Background を選択する。
- 2 変更したいパレットを選択する。
選択したパレットの色が A に表示されます。
- 3 ジョグローラーを回して変更したいカラーバーを選択する。
- 4 ジョグ L、R ボタンを押して色を変更する。
手順 3、4 を繰り返して、3 本のカラーバーで色を調整します。
- 5 セレクト R ボタン (Save) を押す。

変更した背景色に変わります。

変更したくない場合は、セレクト L ボタン (Cancel) を押します。

7. Alert Sound

警告音の On/Off を設定します。

- 1 7. Alert Sound を選択する。
- 2 ジョグ L、R ボタンを押して On または Off を選択する。
- 3 セレクト R ボタン (Save) を押す。

手順 2 の選択が保存されます。

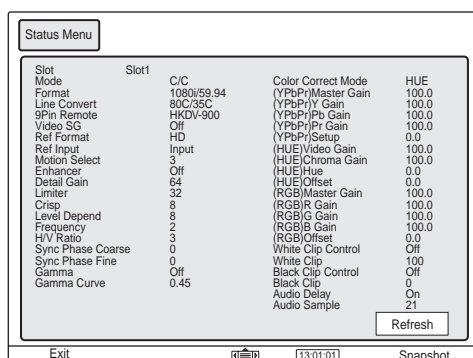
変更したくない場合は、セレクト L ボタン (Cancel) を押します。

8. Exit Application

HKSP-313 用オペレーションソフトウェアを終了し、現在選択しているスロットを自動的に保存して電源立ち上げ時のメイン画面へ戻ります。
セレクト L ボタン (Back) を押すと、操作画面に戻りません。

ステータス表示

セレクト R ボタン (Status) を押すと、HKSP-313 の現在の設定状態が一覧表示されます。



ステータス表示を更新するには、画面に表示されている Refresh ボタンを押します。

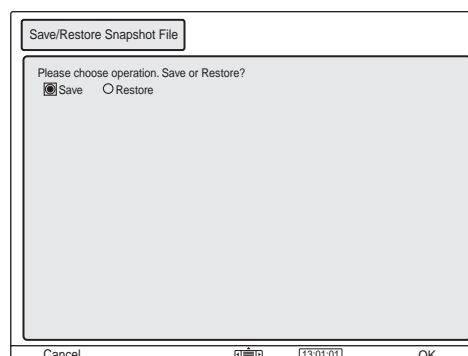
セレクト L ボタン (Exit) を押すと、オペレーションソフトウェアの設定画面に戻ります。

機能していないステータスはグレイで表示されます。

スナップショットデータのセーブとリストア

HKSP-313 の現在の設定状態をメモリースティックにファイルとして保存したり、メモリースティックにファイルとして保持している設定情報を HKSP-313 の設定状態に反映することができます。

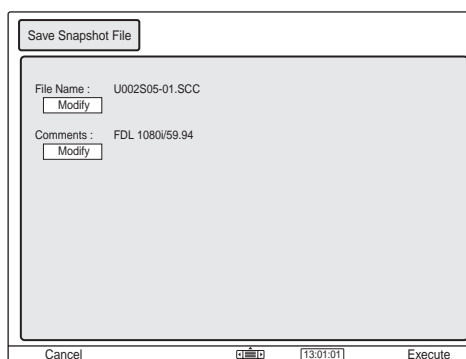
ステータス表示画面でセレクト R ボタン (Snapshot) を押すと、Save/Restore Snapshot File (スナップショットファイルセーブ・リストア選択) 画面が表示されます。



スナップショットデータをセーブするには

- 1 ジョグ L、R ボタンを押して Save を選択する。
- 2 セレクト R ボタン (OK) を押す。
- 3 メモリースティックを挿入する。
- 4 セレクト R ボタン (Go) を押す。

Save Snapshot File (スナップショットファイルセーブ) 画面が表示されます。



メモリースティックに保存するファイル名とファイルに追記するコメントが表示されます。
ファイル名は Unit ID とスロットを元に自動的に作成され、拡張子は SCC となります。

コメントは HKSP-313 の現在の動作モードとフォーマットの設定値になります。

参考

自動生成されるファイル名は、挿入されているメモリースティック内のファイル名を検索し、空き番号を付けたファイル名になります。

例) U001 S05 -01.SCC

ユニット ID スロット 空き番号

ご注意

メモリースティックに ASCII コード以外の文字を使用したファイル名やフォルダー名が存在すると、ファイル名が自動的に作成されない場合があります。

5 セレクト R ボタン (Excute) を押す。

メモリースティックの /MSSONY/PRO/UCP/ に、上記ファイル名で保存されます。

メモリースティックの /MSSONY/PRO/UCP/ がない場合は、保存時に /MSSONY/PRO/UCP/ が作成されます。

6 セレクト R ボタン (Done) を押す。

ステータス表示画面に戻ります。

ファイル名を変更するには

1 画面上の File Name の下にある Modify ボタンを押す。

現在のファイル名の拡張子 SCC が省かれた文字が表示されます。

2 画面上のキーボードで編集する。

3 セレクト R ボタン (OK) を押す。

手順 2 で編集した文字に拡張子 SCC が追加されます。

変更したくない場合は、セレクト L ボタン (Cancel) を押します。

コメントを変更するには

1 画面上の Comments の下にある Modify ボタンを押す。

現在のコメントの文字が表示されます。

2 画面上のキーボードで編集する。

3 セレクト R ボタン (OK) を押す。

変更したくない場合は、セレクト L ボタン (Cancel) を押します。

スナップショットデータをリストアするには

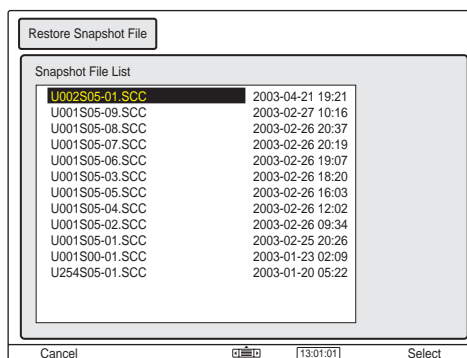
1 ジョグ L、R ボタンを押して Restore を選択する。

2 セレクト R ボタン (OK) を押す。

3 メモリースティックを挿入する。

4 セレクト R ボタン (Go) を押す。

メモリースティックの /MSSONY/PRO/UCP/ にある拡張子が SCC のファイル一覧 (Snapshot File List) を表示します。更新日時の新しい順に上から表示します。

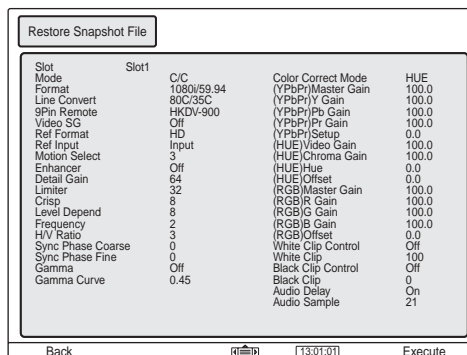


ご注意

メモリースティックに ASCII コード以外の文字を使用したファイル名やフォルダー名が存在すると、ファイル一覧を表示しない場合があります。

5 ジョグローラーを回して、設定したいファイル名を反転表示させ、セレクト L ボタン (Select) を押す。

ファイルが保持している設定情報の一覧 (スナップショットファイルリストア画面) が表示されます。



- 6 セレクト R ボタン (Execute) を押す。
HKSP-313 の設定状態への反映が行なわれます。

- 7 セレクト R ボタン (Done) を押す。
ステータス表示画面に戻ります。

ロック機能

ジョグローラー、ジョグ L、R ボタン、タッチパネル、調整つまみの操作を受け付けなくします。

ロック機能を設定するには

ファンクションボタン 1 を赤く点灯するまで押します。タスクバーに Lock が表示されます。

ご注意




- ・ ロック機能が設定されていても Option Menu、Status Menu へ移行することはできません。
- ・ Option Menu は、ファンクションボタン 1 が赤く点灯していても操作することができます。
- ・ Option Menu、Status Menu 画面では、ファンクションボタン 1 のロック機能は解除できません。
- ・ 数字入力画面が表示されているときは、ロック機能を設定することはできません。

ロック機能を解除するには

ファンクションボタン 1 を消灯するまで押します。ロック機能が解除されます。

エラーおよび警告表示

エラーまたは警告状態のときにステータスエリアに次のアイコンが表示されます。ステータスエリアに触れると、エラーおよび警告コードを表示します。

-  (コミュニケーションエラー): 通信ができません。
-  (警告): ワーニングメッセージがあります。
-  (エラー): エラーメッセージがあります。

コミュニケーションエラーの場合は、接続機器の IP アドレスおよび接続状態を確認し、IP Address の設定をしてください。

IP Address の設定については、「2. IP Address」(19 ページ)をご覧ください。

エラーおよび警告コードの内容については、HKSP-313 の Installation Manual の「6-1. エラー / ワーニングコード一覧」をご覧ください。

セレクト L ボタン (Back) を押すか、ステータスエリアに触れると、エラーおよび警告表示を終了し、操作画面に戻ります。

“メモリースティック”を使う

“メモリースティック”について

“メモリースティック”とは？

“メモリースティック”は、小さくて軽く、しかもフロッピーディスクより容量が大きい新世代のIC記録メディアです。“メモリースティック”対応機器間でデータをやりとりするのにお使いいただけるだけでなく、着脱可能な外部記録メディアの1つとしてデータの保存にもお使いいただけます。

“メモリースティック”には、標準サイズのものとその小型サイズの“メモリースティック デュオ”があります。“メモリースティック デュオ”をメモリースティック デュオアダプターに入れると、標準サイズの“メモリースティック”と同じサイズになり、標準サイズの“メモリースティック”対応機器でもお使いいただけます。

“メモリースティック”の種類

“メモリースティック”には、用途に応じて以下の6種類があります。

・“メモリースティック R”

いったん記録されたデータが上書きされない“メモリースティック”です。“メモリースティック R”対応機器でのみデータを記録できます。著作権保護技術（マジックゲート）が必要なデータは記録できません。

・“メモリースティック”

著作権保護技術（マジックゲート）が必要なデータ以外の、あらゆるデータを記録できる“メモリースティック”です。

・“マジックゲート メモリースティック”

著作権保護技術（マジックゲート）を搭載した“メモリースティック”です。

・“メモリースティック ROM”

あらかじめデータが記録されている、読み出し専用の“メモリースティック”です。データの記録や消去はできません。

・“メモリースティック PRO”

“メモリースティック PRO”対応機器でのみお使いいただける、著作権保護技術（マジックゲート）を搭載した“メモリースティック”です。

・“メモリースティック”（メモリーセレクト機能付き）

内部に複数のメモリー（128MB）を搭載している“メモリースティック”です。

“メモリースティック”本体裏面のメモリーセレクトスイッチにより、用途に応じてご使用になるメモリーを選択できます。各メモリーを同時に、また連続でご使用することができません。

使用可能な“メモリースティック”

本機では、“メモリースティック”、“メモリースティック PRO”、“マジックゲート メモリースティック”がご使用いただけます。ただし、本機はマジックゲート規格に対応していないため、本機で表示するデータはマジックゲートによる著作権の保護の対象にはなりません。

“メモリースティック PRO”について

本機で使える“メモリースティック PRO”は1GBまでです。

“メモリースティック デュオ”について

- ・“メモリースティック デュオ”を本機でお使いの場合は、必ず“メモリースティック デュオ”をメモリースティック デュオ アダプターに入れてからお使いください。
- ・“メモリースティック デュオ”をメモリースティック デュオ アダプターに入れるときは、正しい挿入方向をご確認ください。
- ・“メモリースティック デュオ”をメモリースティック デュオ アダプターに装着して本機でご使用になるときは、正しい挿入方向をご確認の上ご使用ください。間違ったご使用は機器の破損の原因となりますのでご注意ください。
- ・メモリースティック デュオ アダプターに“メモリースティック デュオ”が装着されていない状態で、“メモリースティック”対応機器に挿入しないでください。このような使いかたをすると、機器に不具合が生じることがあります。

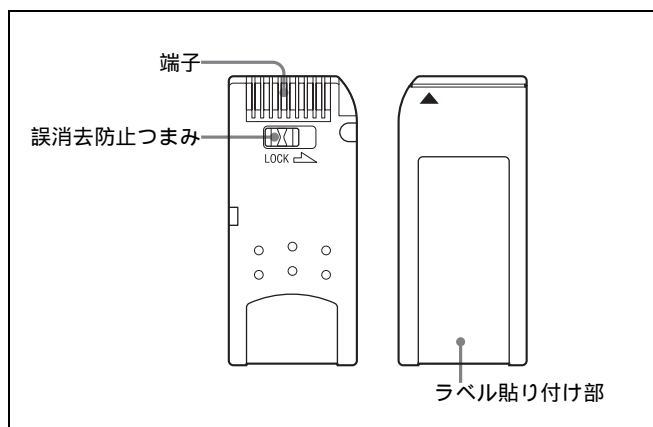
データ読み込み / 書き込みスピードについて

お使いの“メモリースティック”と機器の組み合わせによっては、データの読み込み / 書き込み速度が異なります。

マジックゲートとは？

マジックゲートは、暗号化技術を使って著作権を保護する技術です。

“メモリースティック”について



- ・誤消去防止ツマミを「LOCK」にすると記録や編集、消去ができなくなります。
- ・誤消去防止ツマミの位置や形状は、お使いの“メモリースティック”によって異なることがあります。
- ・“メモリースティック デュオ”の誤消去防止スイッチを動かすときは、先の細いもので動かしてください。
- ・以下の場合、データが破壊されることがあります。
 - 読み込み中、書き込み中に“メモリースティック”を取り出したり、本機の電源を切った場合
 - 静電気や電氣的ノイズの影響を受ける場所で使用した場合
- ・大切なデータは、バックアップを取っておくことをおすすめします。

ご注意

- ・ラベル貼り付け部には、専用ラベル以外は貼らないでください。
- ・ラベルを貼るときは所定のラベル貼り付け部に貼ってください。はみ出さないようにご注意ください。
- ・“メモリースティック デュオ”のメモエリアに書き込むときは、あまり強い圧力をかけないでください。
- ・持ち運びや保管の際は、付属の収納ケースに入れてください。
- ・端子部には手や金属などで触れないでください。
- ・強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- ・分解したり、改造したりしないでください。
- ・水にぬらさないでください。
- ・以下のような場所でのご使用や保管は避けてください。
 - 高温になった車の中や炎天下など気温の高い場所
 - 直射日光のあたる場所
 - 湿気の多い場所や腐食性のある場所

“メモリースティック”の初期化（フォーマット）について

“メモリースティック”は、出荷時に専用の標準フォーマット形式でフォーマットされています。お客様ご自身で“メモリースティック”のフォーマットをされる場合には、本機でフォーマットされることをおすすめします。

“メモリースティック”をパソコンでフォーマットするときのご注意

お手持ちのパソコンなどで“メモリースティック”をフォーマットする場合は、次の点にご注意ください。パソコンでフォーマットした“メモリースティック”は、本機での動作を保証いたしません。一度パソコンでフォーマットした“メモリースティック”を、本機で使用するには、本機で再度フォーマットする必要があります。なお、この場合“メモリースティック”内に記録してあるデータはすべて消去されますので、ご注意ください。

メモリースティックのフォーマットのしかたについては、UCP-8060 の Operation Manual をご覧ください。

ステータスインジケータ点灯中および点滅中は

データの読み込み（緑）または書き込み（赤）を行っています。このとき、本機に振動や強い衝撃を与えないでください。また、本機の電源を切ったり、“メモリースティック”を取りはずしたりしないでください。データがこわれることがあります。

使用上のご注意

- ・データの損失を防ぐため、データは頻繁にバックアップを取るようになしてください。万一、データが損失した場合、当社は一切その責任を負いかねます。
- ・あなたが記録したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。
- ・本機のソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

- ・Memory Stick Duo (“メモリースティックデュオ”) および **MEMORY STICK Duo** は、ソニー株式会社の商標です。
- ・Memory Stick (“メモリースティック”) および  は、ソニー株式会社の商標です。
- ・MagicGate Memory Stick (“マジックゲートメモリースティック”) および **MAGICGATE** は、ソニー株式会社の商標です。
- ・Memory Stick-ROM (“メモリースティック-ROM”) および **MEMORY STICK-ROM** は、ソニー株式会社の商標です。
- ・Memory Stick PRO (“メモリースティック PRO”) および **MEMORY STICK PRO** は、ソニー株式会社の商標です。
- ・Memory Stick R (“メモリースティック R”) および **MEMORY STICK-R** は、ソニー株式会社の商標です。

Table of Contents

Overview	28
Latest Version of the Operation Software	28
Location and Function of Parts	29
Menu	31
Menu Configuration	31
Functions of the Menu Items	34
Operations	41
Starting and Terminating the Operation Software	41
Selecting an Item to be Adjusted	41
Adjustment	42
Setting the Unit ID	42
Setting the Option Menu	43
Status Display	45
Saving and Restoring the Snapshot Data	45
Lock Function	47
Error and Warning Display	47
Using a “Memory Stick”	48
About a “Memory Stick”	48

Overview

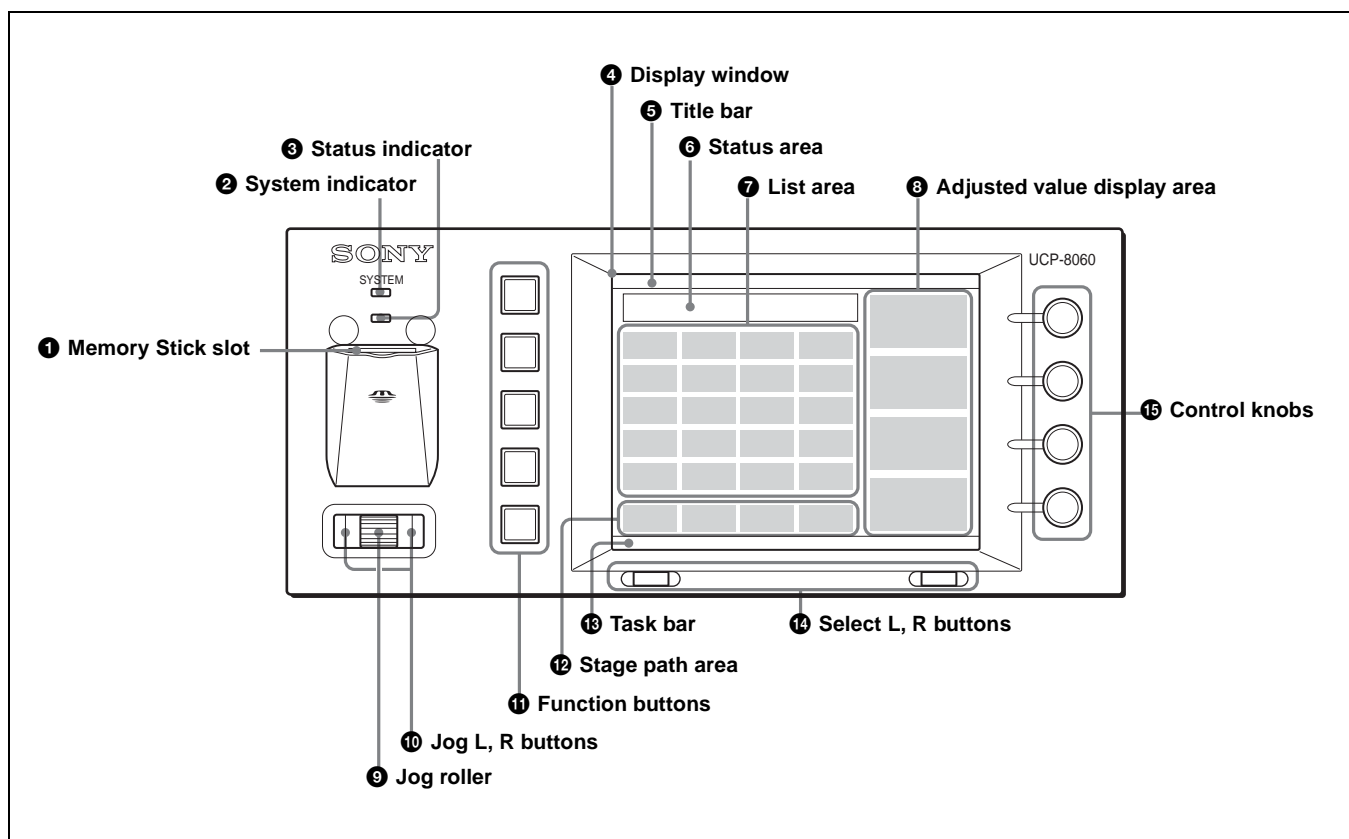
This operation software controls the HKSP-313 HD Color Corrector. It is installed on the UCP-8060 Universal Control Panel and controls multiple HKSP-313 units via the network.

Latest Version of the Operation Software

As for the latest version of the operation software, consult your Sony representative.

To install the latest version, refer to the Operation Manual for the UCP-8060.

Location and Function of Parts



1 Memory Stick slot

Insert a Memory Stick with the label side up.

For details, refer to the Operation Manual of the UCP-8060.

2 System indicator

Lights in red, orange, or green to indicates the system operation status.

3 Status indicator

Lights in red, orange, or green to show the status of access to the Memory Stick slot or of the connected system.

4 Display window

Shows a menu or data. The window functions as a touch panel, and you can select a function by touching an on-screen object representing it. The displayed items depend on the operation software to be used.

5 Title bar

Shows the title of the displayed screen.

6 Status area

Shows the current status such as the slot number where the HKSP-313 is installed, error messages, etc.

7 List area

Shows the items that are controlled with this operation software as buttons. When you touch a button, the function assigned to the button is performed.

8 Adjusted value display area

Shows the parameters assigned to the corresponding control knobs and the set values. A value can be adjusted by turning the control knob. You can directly enter the value on the number key screen displayed by touching the desired area.

9 Jog roller

Turn the roller to select an item or change a value. Press the roller to execute the selection.

10 Jog L, R buttons

The left button is called the jog L button, and the right one the jog R button. Press to change the layer of the menu.

❶ Function buttons

These buttons are called function button 1, 2, ... 5 from the top, and light in red, orange, or green according to the operation status.

Function button 1 (lock): Turns on and off the lock function.

When the button is lit in red, the lock function is set to ON, and when the button is not lit, the function is set to OFF.

Function button 2, 3, and 4: Not used.

Function button 5 (shift): Changes the menu page.

When you press the button lit in green, the next page appears, and when you press the button lit in orange, the previous page appears.

For details on the lock function, see “Lock Function” on page 47.

❷ Stage path area

Shows the path of the menu.

❸ Task bar

Shows the items performed by pressing the select L or R button, keyboard icon, etc.

❹ Select L, R buttons

The left button is the select L button, and the right button is the select R button. Press these buttons to perform the function displayed at the corresponding position on the task bar. The screen display will change accordingly.

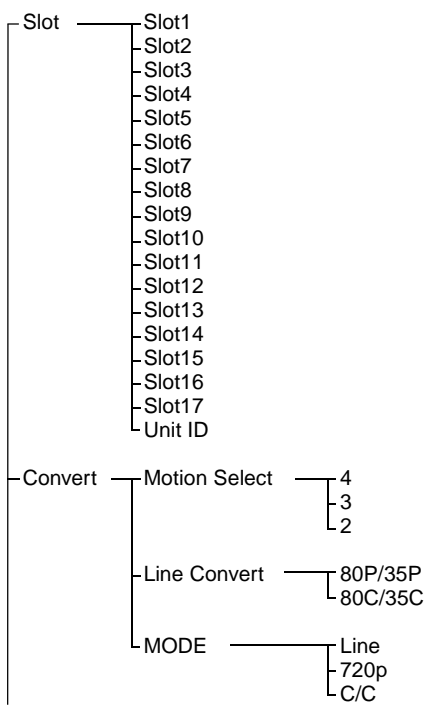
❺ Control knobs

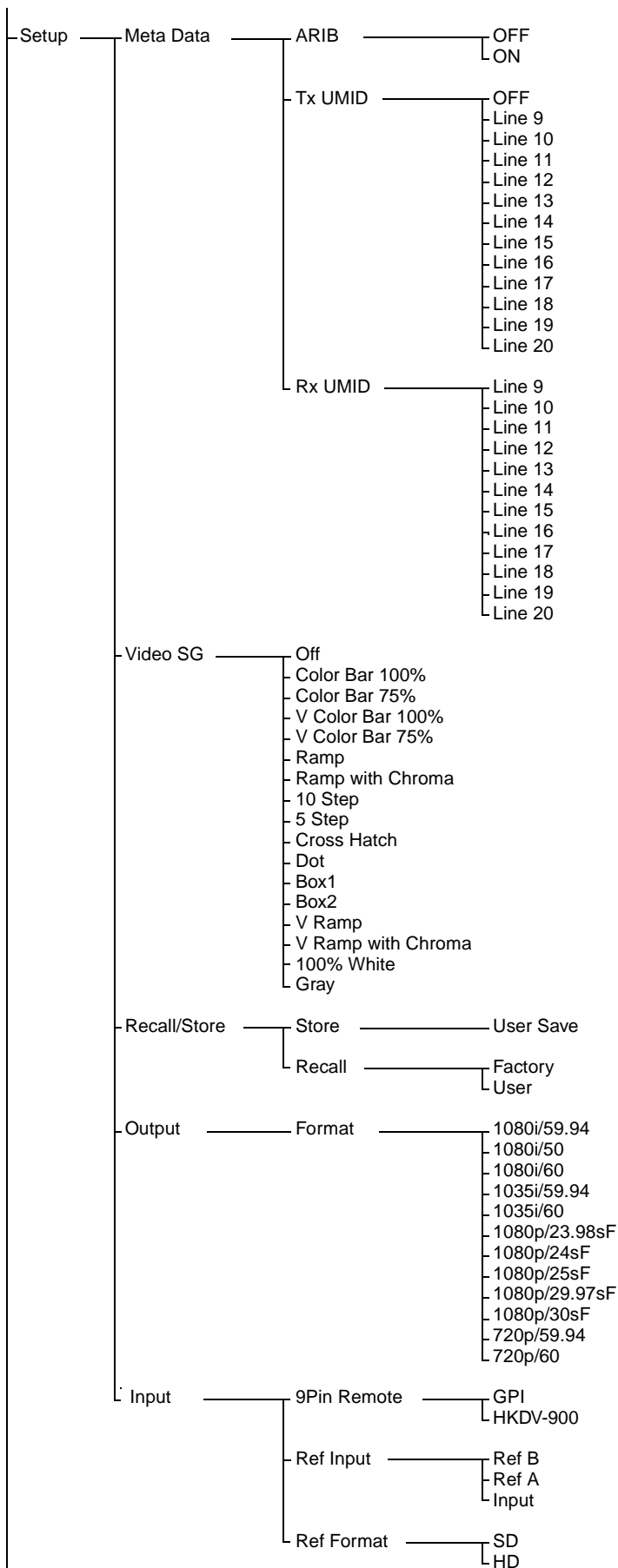
The knobs are called control knob 1, 2, 3, and 4 from the top. These are for adjusting the values of parameters displayed on the right of the display window.

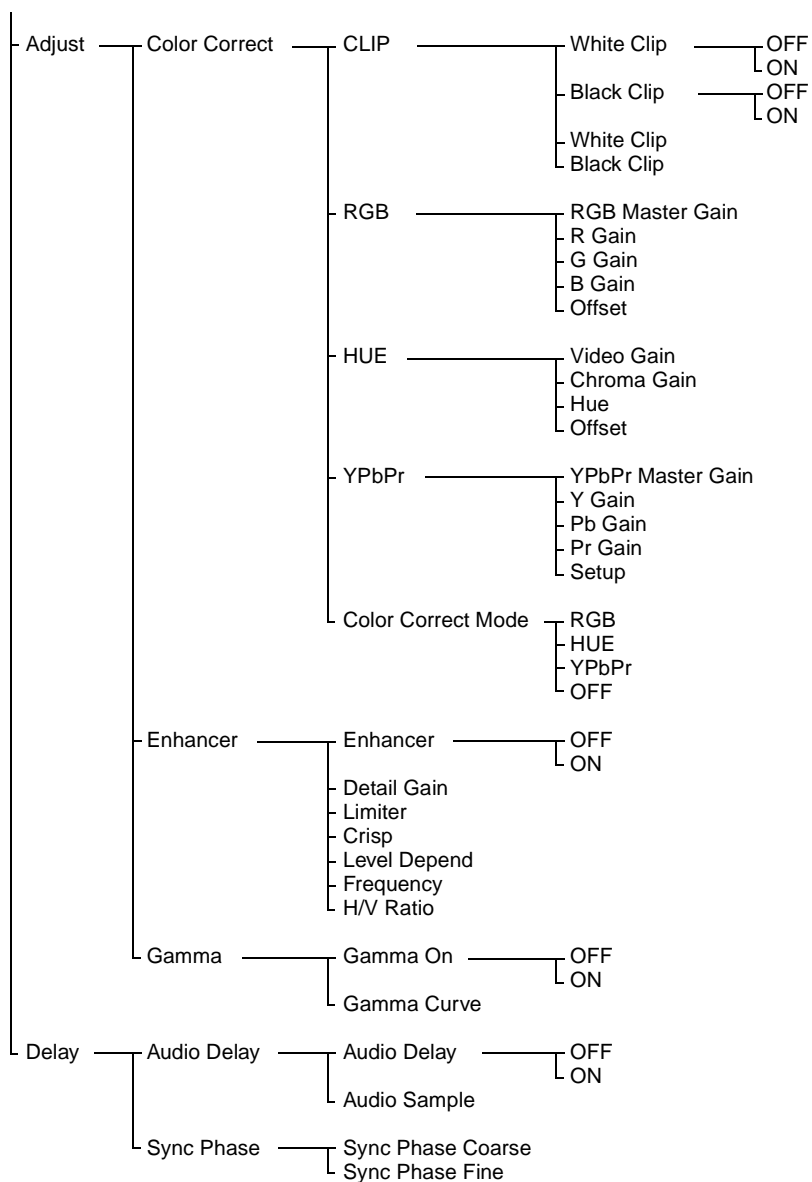
Menu

Menu Configuration

The menu configuration of this software is as shown below.







Functions of the Menu Items

<p>Slot</p> <p>Select the slot number where the HKSP-313 to be controlled is installed.</p>	<p>Slot1 to Slot17: Shows the slot name (up to four characters) to be controlled, and the model name of the board installed in the slot.</p> <p>Note When the PFV-SP3300 is connected, the slot number (Slot1 to Slot17) appears, and when the PFV-SP3100 is connected, the slot number (Slot1 to Slot4) appears.</p> <p>Unit ID: Shows the unit ID (up to 10 characters) of the PFV-SP3300 or PFV-SP3100 currently connected. Available Unit IDs are 1 through 254. Set it using the on-screen numeric keypad.</p> <p>Note The Unit ID cannot be set using the control knob.</p> <p><i>For details on setting the slot name and unit ID, refer to the Installation Manual for the HKSP-300.</i></p>
<p>Convert</p> <p>Controls the conversion mode.</p>	<p>Motion Select Selects the motion detection sensitivity in 720p mode. 4: adaptive 1-M 3: adaptive 1 2: adaptive 1-S</p> <p>Note If MODE is set to C/C or Line, the button is dimmed and cannot be selected.</p> <p>Line Convert Selects the line conversion mode. 80P/35P: 1080 panel mode when Format is set to 1080i/59.94 or 1080i/60, and 1035 crop mode when Format is set to 1035i/59.94 or 1035i/60 80C/35C: 1080 conversion mode when Format is set to 1080i/59.94 or 1080i/60, and 1035 conversion mode when Format is set to 1035i/59.94 or 1035i/60 <i>For details on the conversion mode, refer to “5-1-5. Line conversion mode diagram” in the Installation Manual.</i></p> <p>Note If MODE is set to C/C or 720p, the button is dimmed and cannot be selected.</p> <p>MODE Selects the conversion mode. Line: Line conversion mode 720p: 720p conversion mode C/C: Color corrector mode</p>

<p>Setup Settings for the system</p>	<p>Meta Data Setting for inserting the Meta data</p>	<p>ARIB Controls the ARIB transmission function. OFF: ARIB data transmission is disabled. ON: ARIB data transmission is enabled.</p> <p>Notes</p> <ul style="list-style-type: none"> • If setting for Format is other than 59.94i/60i/59.94P/60P, the button is dimmed and cannot be selected. • If UMID is set on the ARIB line, the ARIB menu cannot be set. <p>Tx UMID Designates the line number for UMID data transmission. OFF: UMID data transmission is not performed. Line 9 to Line 20: Designates the line number for UMID data transmission. Adjustable range: Line 9 to Line 20 (If Format is set to 1080/1035, and ARIB is set to ON, Line 19 and Line 20 cannot be selected.) Factory setting: Line 17</p> <p>Notes</p> <ul style="list-style-type: none"> • When settings for MODE and Format are changed, the default line is retrieved. • If system delay is set to the minimum value, Rx UMID setting is reflected to Tx UMID, and Tx UMID menu does not appear. <p>Rx UMID Designates the line number for UMID data reception. Line 9 to Line 20: Designates the line number for UMID data reception. Adjustable range: Line 9 to Line 20 (If Format is set to 1080/1035, and ARIB is set to ON, Line 19 and Line 20 cannot be selected.) Factory setting: Line 17</p> <p>Notes</p> <ul style="list-style-type: none"> • When settings for MODE and Format are changed, the default line is retrieved. • If system delay is set to the minimum value, Rx UMID setting is reflected to Tx UMID, and Tx UMID menu does not appear.
	<p>Video SG Selects the internal video signal.</p>	<p>Selects a signal among from the followings: Off: The internal signal generator is not used. Color Bar 100%: A 100% color bar signal Color Bar 75%: A 75% color bar signal V Color Bar 100%: A 100% vertical color bar signal V Color Bar 75%: A 75% vertical color bar signal Ramp: A ramp signal Ramp with Chroma: A ramp signal with color 10 Step: A ten-step signal 5 Step: A five-step signal Cross Hatch: A cross hatch signal Dot: A dot signal Box1: A box 1 signal Box2: A box 2 signal V Ramp: A vertical ramp signal V Ramp with Chroma: A vertical ramp signal with color 100% White: A 100% white signal Gray: A gray signal</p>

Setup (continued)	Recall/Store Managing the default values.	Store Stores the default values set by the user. User Save: The current setting values are stored as the user default values.
		Recall Retrieves the default values. Factory: The default values set at the factory are retrieved. User: The default values set by the user are retrieved. Note If no values have been stored by User Save, the defaults values for the User and Factory are the same.
	Output Selects the output signal.	Format Selects the output signal format. 1080i/59.94: 1080 line, 59.94 Hz, interlaced 1080i/50: 1080 line, 50 Hz, interlaced ^{a) b)} 1080i/60: 1080 line, 60 Hz, interlaced ^{b)} 1035i/59.94: 1035 line, 59.94 Hz, interlaced ^{b)} 1035i/60: 1035 line, 60 Hz, interlaced ^{b)} 1080p/23.98sF: 1080 line, 23.98 Hz, progressive, segmented frame ^{a) b)} 1080p/24sF: 1080 line, 24 Hz, progressive, segmented frame ^{a) b)} 1080p/25sF: 1080 line, 25 Hz, progressive, segmented frame ^{a) b)} 1080p/29.97sF: 1080 line, 29.97 Hz, progressive, segmented frame ^{a) b)} 1080p/30sF: 1080 line, 30 Hz, progressive, segmented frame ^{a) b)} 720p/59.94: 720 line, 59.94 Hz, progressive ^{a)} 720p/60: 720 line, 60 Hz, progressive ^{a)} a) If MODE is set to Line, the buttons are dimmed and cannot be selected. b) If MODE is set to 720p, the buttons are dimmed and cannot be selected.
		9 Pin Remote Selects a 9-pin remote control unit. GPI: GPI HKDV-900: HKDV-900 HD Digital Video Controller
	Input Setting for the input signal	Ref Input Selects a signal to be used as a reference signal. Ref B: A signal input to the REF B connector Ref A: A signal input to the REF A connector Input: An input video signal
		Ref Format Selects an external reference signal. SD: An SD black burst signal HD: An HD three-value signal

Adjust Adjusts the output video signal.	Color Correct Adjusts the color correct function. Note If MODE is set to Line, the button is dimmed and cannot be selected.	CLIP Adjusts the clipping. Note If Color Correct Mode is set to OFF, the button is dimmed and cannot be selected.	White Clip Controls the white clip adjustment. OFF: The white clip adjustment is disabled. ON: The white clip adjustment is enabled.
			Black Clip Controls the black clip adjustments OFF: The black clip adjustment is disabled. ON: The black clip adjustment is enabled.
			White Clip Adjusts the white clip level. Adjustable range: 93 to 108% in 1% steps Factory setting: 100%
			Black Clip Adjusts the black clip level. Adjustable range: -6 to +7% in 1% steps Factory setting: 0%
		RGB Adjusts in RGB mode. Note If Color Correct Mode is set to RGB, this is enabled.	RGB Master Gain Adjusts the master gain. Adjustable range: 0 to 141% in 0.1% steps Factory setting: 100%
			R Gain Adjusts the R gain. Adjustable range: 0 to 141% in 0.1% steps Factory setting: 100%
			G Gain Adjusts the G gain. Adjustable range: 0 to 141% in 0.1% steps Factory setting: 100%
			B Gain Adjusts the B gain. Adjustable range: 0 to 141% in 0.1% steps Factory setting: 100%
			Offset Adjusts the offset. Adjustable range: -10 to +10% in 0.5% steps Factory setting: 0% (Change the page by pressing Function button 5 (shift).)

Adjust (continued)	Color Correct (continued)	HUE Adjusts in HUE mode. Note If Color Correct Mode is set to HUE, this is enabled.	Video Gain Adjusts the video gain. Adjustable range: 0 to 141% in 0.1% steps Factory setting: 100%
			Chroma Gain Adjusts the chroma gain. Adjustable range: 0 to 141% in 0.1% steps Factory setting: 100%
			Hue Adjusts the hue. Adjustable range: -30° to +30° in 0.1° steps Factory setting: 0°
			Offset Adjusts the offset. Adjustable range: -10 to +10% in 0.5% steps Factory setting: 0%
		YPbPr Adjusts in YPbPr mode. Note If Color Correct Mode is set to YPbPr, this is enabled.	YPbPr Master Gain Adjusts the master gain. Adjustable range: 0 to 141% in 0.1% steps Factory setting: 100%
			Y Gain Adjusts the Y gain. Adjustable range: 0 to 141% in 0.1% steps Factory setting: 100%
			Pb Gain Adjusts the Pb gain. Adjustable range: 0 to 141% in 0.1% steps Factory setting: 100%
			Pr Gain Adjusts the Pr gain. Adjustable range: 0 to 141% in 0.1% steps Factory setting: 100%
			Setup Adjusts the setup. Adjustable range: -10 to +10% in 0.5% steps Factory setting: 0% (Change the page by pressing Function button 5 (shift).)
		Color Correct Mode Selects the color correct mode. RGB: RGB mode HUE: HUE mode YPbPr: YPbPr mode OFF: The color correct mode is turned off.	

Adjust (continued)	Enhancer Adjusts the enhancer.	Enhancer Controls the detail adjustment. OFF: The detail adjustment is disabled. ON: The detail adjustment is enabled.
		Detail Gain Adjusts the detail gain. Adjustable range: 0 to 127 Factory setting: 64
		Limiter Adjusts the clipping level against the detail signal level. Adjustable range: 0 to 63 Factory setting: 32
		Crisp Adjusts the crisping level for the detail signal. Adjustable range: 0 to 15 Factory setting: 8
		Level Depend Adjusts the compression ratio for the detail signal at dark part. Adjustable range: 0 to 15 Factory setting: 8
		Frequency Selects the frequency for the H detail. Adjustable range: 0 to 3 Factory setting: 2 (Change the page by pressing Function button 5 (shift).)
		H/V Ratio Selects the mixing ratio of the H/V detail signal. Adjustable range: 0 to 7 Factory setting: 3 (Change the page by pressing Function button 5 (shift).)
	Gamma Adjusts the gamma. Note If MODE is set to Line, the button is dimmed and cannot be selected.	Gamma Controls the gamma adjustment. OFF: The gamma adjustment is disabled. ON: The gamma adjustment is enabled.
		Gamma Curve Adjusts the gamma curve. Adjustable range: 0.38 to 0.52 in 0.01 steps Factory setting: 0.45

Delay Adjusts the delay.	Audio Delay Controls the audio delay.	Audio Delay Controls the audio delay. OFF: The audio signal is delayed by synchronizing with the video system delay. ON: The adjustment of the audio signal delay is enabled.
		Audio Sample Adjusts the audio delay. Adjustable range: 21 to 4095 samples Factory setting: 21
	Sync Phase Controls the sync phase. Note If Enhancer is set to Off, the system delay is set to 4 microseconds, the minimum value, and adjustment is not allowed.	Sync Phase Coarse Adjusts the sync phase coarsely. Adjustable range is from -128 to +127 in 1 steps. Factory setting: 0
		Sync Phase Fine Adjusts the sync phase finely Adjustable range is from 0 to 1024 in 8 steps. Factory setting: 0

Operations

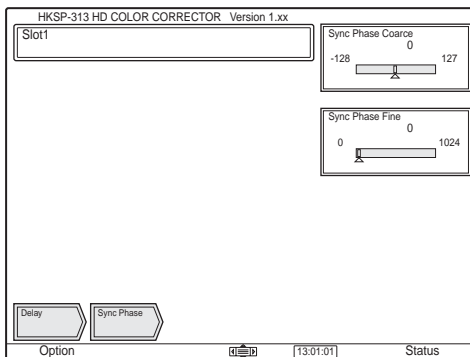
When the power is supplied to the UCP-8060, the system indicator lights in red. When initialization of the unit is finished normally, the indicator lights in green, and the Main Screen appears in the display window. You can select the menu or items or adjust the parameters displayed in the window with the jog roller, jog buttons, select buttons, and control knobs. The display window also functions as a touch panel, and you can select the menu and items, by touching on-screen objects.

Starting and Terminating the Operation Software

Starting the operation software

- 1 Turn the jog roller to select the operation software to be started on the Main Screen.
- 2 Push the jog roller or the select R button (Launch).

The selected operation software is activated.



You can select the operation software by touching the appropriate on-screen object on the Main Screen.

Auto Start Function

When the auto start function is set, the top page of this operation software appears instead of the Main Screen of the UCP-8060 when the power of the UCP-8060 is turned on.

For details on setting the auto start function, refer to the Operation Manual of the UCP-8060.

Terminating the operation software

- 1 Press the select L button (Option) on the top page of this operation software.

The Option Menu appears.

- 2 Turn the jog roller to select “8. Exit Application.”

- 3 Push the jog roller.

The operation software terminates, and the Main Screen appears.

You can also select “8. Exit Application” by touching in on the screen.

Selecting an Item to be Adjusted

Touch a button on the touch panel to select your desired item.

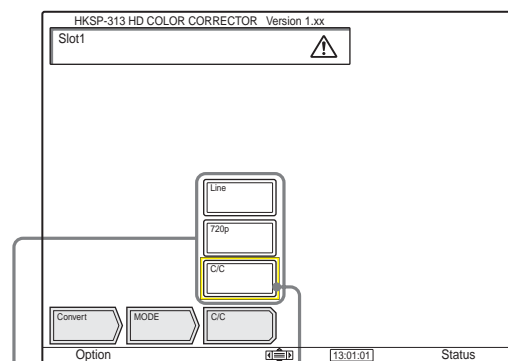
The buttons are classified into three types as follows:

- To display the next layer
- To set or perform the displayed item
- To toggle the item On or Off

For example to adjust MODE, follow the procedures below.

- 1 Press the MODE button.

The list of choice appears on the third column from the left.



Press to select an item.

Cursor (yellow)

- 2 Press the desired button among the displayed list.

The following list of choices appears if there are any. If the button has a function to toggle ON or OFF, setting is changed to ON or OFF each time the button is pressed.

Cursor on the operation panel

A cursor displayed in list area moves only when you select an item to be adjusted by using the jog roller or jog L and R buttons are used. If you touch the button directly, the cursor does not move.

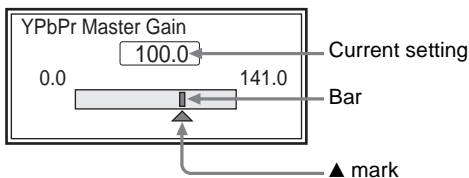
Adjustment

You can adjust the values displayed in the adjusted value display area with the control knob or directly enter the values.

Adjusting using the control knob

Turn the control knob corresponding to the parameter to be adjusted.

Displaying the Unity value



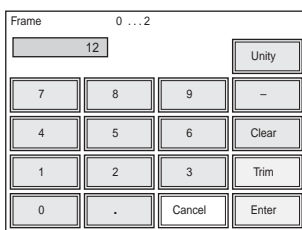
▲ mark: Unity position (shows the user default value)

Bar: The bar appears in yellow when the Unity value and the current setting are the same.

Adjusting using the numeric key display

- 1 Touch the adjusted value display area whose value is to be adjusted.

The numeric key display appears.



- 2 Enter the value to be set, then press the Enter button.

To trim the set value, enter the value, then press the Trim button.

The numeric key display disappears, and the entered value is shown in the adjusted value display area.

To clear the entered value, press the Clear button before pressing the Enter or Trim button.

To cancel the entered value

Press the Cancel button.

Retrieving the default values

Press the Unity button. The default values set by User Save is retrieved.

For details, see page 36.

Setting the Unit ID

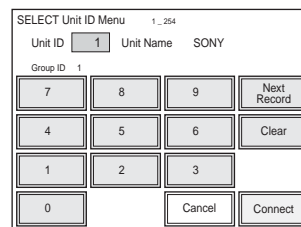
The Unit ID displayed in the adjusted value display area is set by entering the numeric value.

- 1 Press the Slot button in the list area.

The Unit ID appears in the adjusted value display area.

- 2 Press Unit ID in the adjusted value display area.

The numeric keypad appears.



- 3 Enter the value to be set, then press the Connect button.

The numeric keypad disappears, and the entered value is shown in the adjusted value display area.

To clear the entered value, press the Clear button before pressing the Connect button.

To cancel the entered value

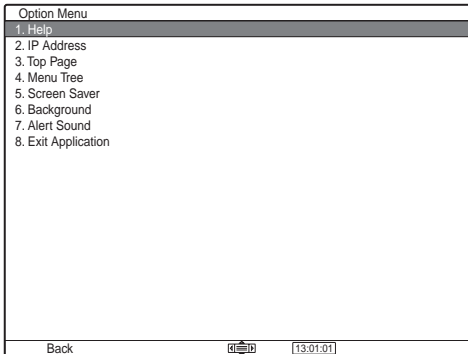
Press the Cancel button.

To select a Unit ID that includes the communication history

Press the Next Record button. The values following the current setting appear in order. If the Unit ID with the communication history has a unit name, that also appears.

Setting the Option Menu

If you press the select L button (Option) on the display, the Option Menu appears. The settings made on this menu are retained even if the power is turned off.



Default settings are as shown below.

2. IP Address (when a PFV-SP3100/ SP3300 is connected)	Group ID: 1 Category ID: 4 Unit ID: 1 IP Address: 10.129.4.1
3. Top Page	Default Page
4. Menu Tree	Off
5. Screen Saver	On Elapsed Period of Time (min): 10
6. Background	Default B: 127, G: 111, R: 111
7. Alert Sound	On

Selecting an item to be set

Select an item using either the following two methods:

Method 1

Touch an item you intend to set.

Method 2

- 1 Turn the jog roller to highlight the item to be set.
- 2 Press the jog roller.

1. Help

Shows the setting for the function buttons.

2. IP Address

You may set the Group ID (setting range: 1 to 63) and Unit ID (setting range: 1 to 254).

- 1 Select “2. IP Address.”

- 2 Press the jog L or R button to select an item to be changed.

- 3 Turn the jog roller to change the setting.

- 4 Press the select R button (Save).

The changed value is stored.

If you do not change the settings, press the select L button (Cancel).

To set another item, repeat steps **2** and **3**.

IP address

The IP address of the DATA LAN is decided by the combination of Category ID, Group ID, and Unit ID. Normally the Category ID has been decided, and the Group ID is set to 1 so that specifying the Unit ID is enough to enable the connection.

To clear the communication history

Press the Clear button in the lower right of the display, and perform step **4**. The value whose Group ID and Unit ID have been changed is stored, and the communication history is cleared.

If you press the Clear button again before performing step **4**, clearing of the communication history is canceled.

3. Top Page

Select the start page displayed when this software starts.

Default Page: Top page is displayed.

This Page: The page just before the Option Menu is selected is displayed.

- 1 Select “3. Top Page.”

- 2 Select Default Page or This Page with the jog L or R button.

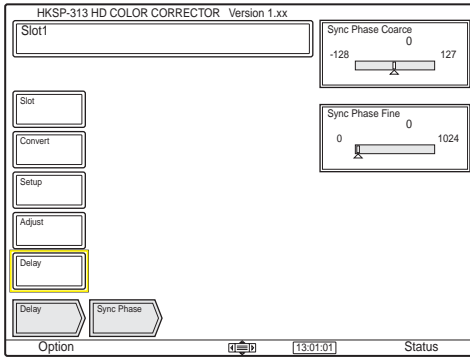
- 3 Press the select R button (Save).

The selection in step **2** and the currently selected slot number are stored.

If you do not change the settings, press the select L button (Cancel).

4. Menu Tree

Set whether to display the buttons for the first stage (Slot/Convert/Setup/Adjust/Delay) or not. When set to On, the buttons appear on the left of the display as shown below.



- 1 Select “4. Menu Tree.”
- 2 Select On or Off with the jog L or R button.
- 3 Press the select R button (Save).

The selection in step 2 is stored.

If you do not change the settings, press the select L button (Cancel).

5. Screen Saver

Set the screen saver function On or Off, and the period to start the screen saver mode (1 to 60 minutes).

- 1 Select “5. Screen Saver.”
- 2 Select On or Off with the jog L or R button.
If you select On, set the period to start the screen saver mode.
If you select Off, skip to step 7.
- 3 Turn the jog roller to move the cursor to Elapsed Period of Time.
- 4 Press the jog roller to highlight the set value.
- 5 Turn the jog roller to set the period to start the screen saver mode.
- 6 Press the jog roller to decide the set period.
- 7 Press the select R button (Save).

The set period is stored.

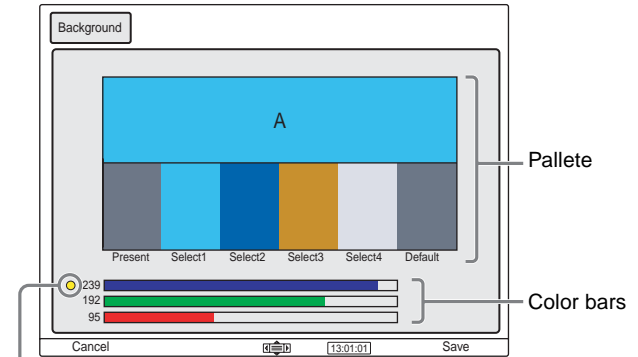
If you do not change the settings, press the select L button (Cancel).

6. Background

Set the background color of the display window.

Note

The color of the task bar is fixed. You cannot change the background color.



Yellow dot shows the color bar being adjusted.

Palette Present shows the current background color, and palette A shows the color to be adjusted. You can select any desired color from Select 1 through 4, and Default. The background color can be changed based on the color of Present, Default, and Select 1 to 4 with the following procedures. When 6. Background is selected again, the color of Select 1 to 4 and Default returns to the original color. The color of Present only is kept.

- 1 Select “6. Background.”
- 2 Select the palette to be changed.
The color of the selected palette appears in A.
- 3 Select a desired color bar by turning the jog roller.
- 4 Press the jog L or R button to change the color.
Adjust the color repeating steps 3 and 4 using three color bars.
- 5 Press the select R button (Save).
The background color changes.
If you do not change the color, press the select L button (Cancel).

7. Alert Sound

Set the alert sound On or Off.

- 1 Select “7. Alert Sound.”
- 2 Press the jog L or R button to select On or Off.

3 Press the select R button (Save).

The selection in step 2 is stored.

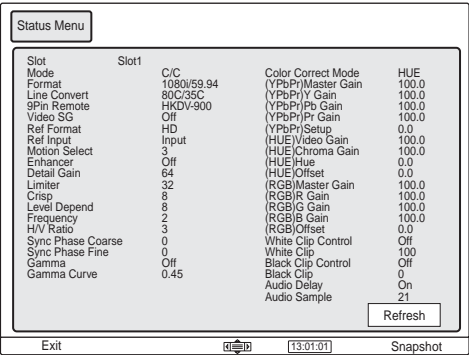
If you do not change the settings, press the select L button (Cancel).

8. Exit Application

Terminates the operation software for the HKSP-313 and stores the currently selected slot number automatically. Then Main Screen is displayed. When you press the select L button (Back), the operation display appears..

Status Display

Press the select R button (Status), and a list of settings for the HKSP-313 is displayed.



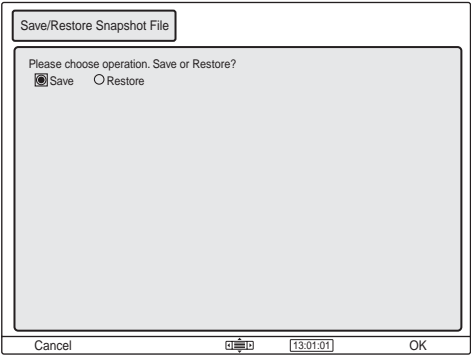
To update the Status display, press the Refresh button.

If you press the select L button (Exit), the setting display for the operation software is retrieved.

Status of disabled items appears in gray.

Saving and Restoring the Snapshot Data

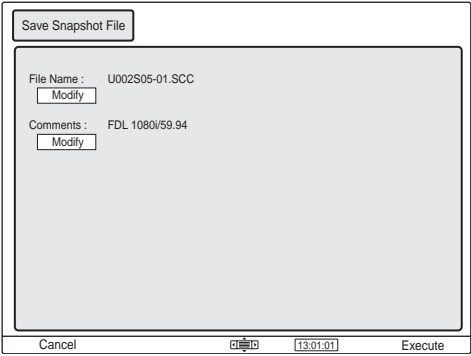
The current settings of the HKSP-313 can be stored in a Memory Stick as a file, and also the data stored in the Memory Stick can be read and used by the HKSP-313. Press the select R button (Snapshot) on the Status display. The Save/Restore Snapshot File display appears.



Saving the snapshot data

- 1 Press the jog L or R buttons to select Save.
- 2 Press the select R button (OK).
- 3 Insert the Memory Stick in the Memory Stick slot.
- 4 Press the select R button (Go).

The Save Snapshot File display appears.



File Name (to store data in the Memory Stick) and Comments appear. The filename is automatically created based on the Unit ID and slot number, and has the extension SCC. Comments shows the current operating mode of the HKSP-313 and the settings of the format.

Information

The filename is automatically created by checking the filename stored in the Memory Stick and assigning an unused number.

Example: U001 S05-01.SCC

Unit ID Slot Unused number

Note

If a filename or folder name having any non-ASCII characters exists in the Memory Stick, the filename may not be created automatically.

- 5 Press the select R button (Execute).

The file is stored with the filename created above in the folder /MSSONY/PRO/UCP/ in the Memory Stick.

If /MSSONY/PRO/UCP/ does not exist in the Memory Stick, it is created automatically when storing data.

- 6 Press the select R button (Done).

The Status display is retrieved.

To change the filename

- 1 Press the Modify button under File Name on the display.

The characters of the current filename, excluding the extension SCC, appear.

- 2 Modify the filename using the keyboard on the display.

- 3 Press the select R button (OK).

The extension SCC is added to the characters modified in step 2.

To cancel the modification, press the select L button (Cancel).

Modifying the comments

- 1 Press the Modify button under Comments on the display.

The current comments appear.

- 2 Modify the filename using the keyboard on the display.

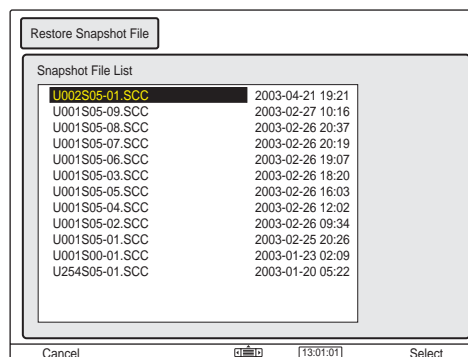
- 3 Press the select R button (OK).

To cancel the modification, press the select L button (Cancel).

Restoring the snapshot data

- 1 Press the jog L or R button to select Restore.
- 2 Press the select R button (OK).
- 3 Insert the Memory Stick into the Memory Stick slot.
- 4 Press the select R button (Go).

A list of files with the extension SCC in /MSSONY/PRO/UCP/ in the Memory Stick (Snapshot File List) appears.

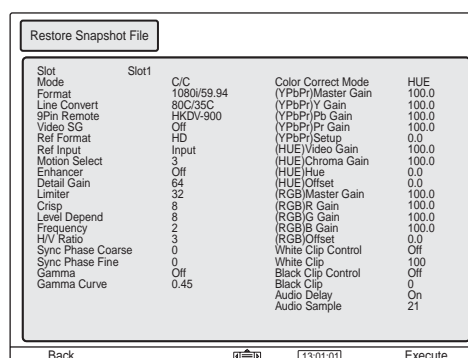


Note

If a filename or folder name having any non-ASCII characters exists in the Memory Stick, the file list may not appear.

- 5 Turn the jog roller to highlight the filename to be set on the HKSP-313, then press the select L button (Select).

The setting status of the selected file appears.



- 6 Press the select R button (Execute).

The data selected in step 5 are used as settings of the HKSP-313.

- 7 Press the select R button (Done).

The Status display is retrieved.

Lock Function

The lock function disables operation of the jog roller, the jog L and R buttons, the control knobs, and the touch panel.

To set the lock function

Hold the function 1 button pressed until it lights in red. “Lock” will then appear on the task bar.

Notes

- You can display the Option Menu and Status Menu even if the Lock function is set.
- The Option Menu is operable even if the function 1 button is lit in red.
- The Lock function cannot be released on the Option Menu and Status Menu.
- When the numeric key display is displayed, the lock function cannot be set.

To release the lock function

Hold the function 1 button pressed until it goes out, and the lock function is released.

Error and Warning Display

If you touch the status area in error or warning status, one of the following icons will appear. If you touch the status area, an error or warning code is displayed.



(communication error): A communication error has been generated.



(warning): A warning message is posted.



(error): An error message is generated.

If a communication error has been generated, check the IP address and the connections, and set the IP address correctly.

For details on IP address setting, see “2. IP Address” on page 43.

For details on the error and warning codes, refer to “6-1. Error/Warning Code List” in the Installation Manual for the HKSP-313.

When you press the select L button (Back) or touch the status area, the display of the error or warning code is terminated, and the operation display appears.

Using a “Memory Stick”

About a “Memory Stick”

What is “Memory Stick”?

“Memory Stick” is a new compact, portable and versatile IC (Integrated Circuit) recording medium with a data capacity that exceeds a floppy disk.

“Memory Stick” is specially designed for exchanging and sharing digital data among “Memory Stick” compatible products. Because it is removable, “Memory Stick” can also be used for external data storage.

“Memory Stick” is available in two sizes: standard size and compact “Memory Stick Duo” size. Once attached to a Memory Stick Duo adapter, “Memory Stick Duo” turns to the same size as standard “Memory Stick” and thus can be used with products compliant with standard “Memory Stick.”

Types of “Memory Stick”

“Memory Stick” is available in the following six types to meet various requirements in functions.

- **“Memory Stick-R”**

Stored data are not overwritten. You can write data to “Memory Stick-R” with “Memory Stick-R” compatible products only. Copyright protected data that requires MagicGate copyright protection technology cannot be written to “Memory Stick-R.”

- **“Memory Stick”**

Stores any type of data except copyright-protected data that requires the MagicGate copyright protection technology.

- **“MagicGate Memory Stick”**

Equipped with the MagicGate copyright protection technology.

- **“Memory Stick-ROM”**

Stores pre-recorded, read-only data. You cannot record on “Memory Stick-ROM” or erase the pre-recorded data.

- **“Memory Stick PRO”**

Equipped with the MagicGate copyright protection technology, designed for use only with equipment compatible with “Memory Stick PRO.”

- **“Memory Stick” (with memory select function)**

Equipped with the multiple memories (128 MB). You can select the memory to use with the memory selects switch on the back of the “Memory Stick.” You cannot use different memories simultaneously or continuously.

Available types of “Memory Stick”

You can use various of “Memory Stick,” “Memory Stick” and “MagicGate Memory Stick” with your product. However, because your product does not support the MagicGate standards, data recorded with your product is not subject to MagicGate copyright protection.

Note on “Memory Stick PRO”

You can use up to “Memory Stick PRO” (up to 1GB) with your product.

Notes on “Memory Stick Duo”

- To use “Memory Stick Duo” with your product, attach it to the Memory Stick Duo adapter before inserting it into your product.
- Be sure to attach “Memory Stick Duo” to the adapter with the correct orientation.
- Be sure to insert the Memory Stick Duo adapter with the correct orientation. Otherwise, the product may be damaged.
- Do not insert the Memory Stick Duo adapter without “Memory Stick Duo” attached. Doing so may result in malfunction of the product.

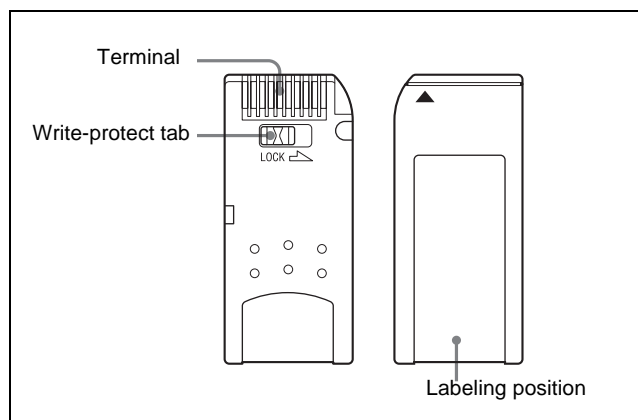
Note on data read/write speed

Data read/write speed may vary depending on the combination of the “Memory Stick” and “Memory Stick” compliant product you use.

What is MagicGate?

MagicGate is copyright protection technology that uses encryption technology.

Before using a “Memory Stick”



- When you set the “Memory Stick” erasure prevention switch to “LOCK,” data cannot be recorded, edited, or erased.
- The position and shape of the write-protect tab may differ depending on the “Memory Stick” to be used.
- Use a sharp object, such as a ballpoint pen, to move the “Memory Stick Duo” erasure prevention switch.

- Data may be damaged if:
 - You remove the “Memory Stick” or turn off the unit while it is reading or writing data.
 - You use the “Memory Stick” in a location subject to the effects of static electricity or electric noise.
- We recommend that you make a backup copy of important data that you record on the “Memory Stick.”

Notes

- Do not attach anything other than the supplied label to the “Memory Stick” labeling position.
- Attach the label so that it does not stick out beyond the labeling position.
- Do not write forcefully on the “Memory Stick Duo” memo area.
- Carry and store the “Memory Stick” in its case.
- Do not touch the connector of the “Memory Stick” with anything, including your finger or metallic objects.
- Do not strike, bend, or drop the “Memory Stick.”
- Do not disassemble or modify the “Memory Stick.”
- Do not allow the “Memory Stick” to get wet.
- Do not use or store the “Memory Stick” in a location that is:
 - Extremely hot, such as in a car parked in the sun
 - Under direct sunlight
 - Very humid or subject to corrosive substances

About formatting “Memory Stick”

When “Memory Sticks” are shipped from the factory, they are already formatted to a special standard. When you format “Memory Stick,” we recommend formatting them on this product.

Caution when formatting “Memory Stick” on a personal computer

Pay attention on the following points when formatting “Memory Stick” on a personal computer. Operation of “Memory Stick” formatted on a personal computer is not guaranteed on this product. To use a “Memory Stick” that has been formatted on a personal computer, the “Memory Stick” must be reformatted on this product. If it is not reformatted, all data stored on the “Memory Stick” will be lost.

For details on formatting a “Memory Stick,” refer to the Operation Manual for the UCP-8060.

Status Indicator

If the status indicator is turned on or is flashing, data is being read from or written to the “Memory Stick.” At this time, do not shake the computer or product or subject them to shock. Do not turn off the power of the computer and product or remove the “Memory Stick.” This may damage the data.

Precautions

- To prevent data loss, make backups of data frequently. In no event will Sony be liable for any loss of data.
- Unauthorized recording may be contrary to the provisions of copyright law.
- The “Memory Stick” application software may be modified or changed by Sony without prior notice.

“Memory Stick Duo” and **MEMORY STICK DUO** are the trademarks of Sony Corporation.

“Memory Stick” and  are the trademarks of Sony Corporation.

“MagicGate Memory Stick” and **MAGICGATE** are the trademarks of Sony Corporation.

“Memory Stick-ROM” and **MEMORY STICK-ROM** are the trademarks of Sony Corporation.

“Memory Stick PRO” and **MEMORY STICK PRO** are the trademarks of Sony Corporation.

“Memory Stick R” and **MEMORY STICK-R** are the trademarks of Sony Corporation.

このマニュアルに記載されている事柄の著作権は当社にあり、説明内容は機器購入者の使用を目的としています。

従って、当社の許可なしに無断で複写したり、説明内容（操作、保守等）と異なる目的で本マニュアルを使用することを禁止します。

The material contained in this manual consists of information that is the property of Sony Corporation and is intended solely for use by the purchasers of the equipment described in this manual.

Sony Corporation expressly prohibits the duplication of any portion of this manual or the use thereof for any purpose other than the operation or maintenance of the equipment described in this manual without the express written permission of Sony Corporation.

HKSP-313
(UCP-8060) (SY)
3-776-984-02 (1)

Sony Corporation
B & P Company

<http://www.sony.net/>

© 2003